

目 次

1 3	5ゆみ	
(1)	吹田市公共下水道のあゆみ	1
(2)	年表	3
2	「水道計画と整備状況」 	
(1)	計画概要	4
ア	計画区域	4
イ	汚水処理計画	5
ウ	雨水排除計画	6
(2)	計画面積及び人口	7
ア	単独公共下水道	7
1	流域関連公共下水道	7
(3)	都市計画、事業認可及び事業計画の経過	8
ア	都市計画の経過	8
1	都市計画法事業認可の経過	9
ウ	下水道法事業計画の経過	12
(4)	普及状況	15
ア	人口普及率	15
1	全市域人口普及率推移	15
ウ	面積普及率	16
エ	全市域面積普及率推移	16
2 7	これ、英体乳の乳束と柳亜	
	「水道施設の計画と概要 	
(1)	管渠及びマンホールポンプ施設等の概要	17
ア	主要な管渠 (計画決定管渠) の位置図	17
1		18
ウ	マンホールポンプ主要仕様・設置個所一覧	20
(2)	下水道法事業計画(処理場・ポンプ場)	21
ア	处理施設	21
イ	ポンプ施設	21

(3)	下水処理場の概要	22
ア	川面水再生センター	22
1	南吹田水再生センター	23
(4)	ポンプ場の概要	24
ア	川園ポンプ場	24
	•	
4 7	水道施設の維持管理	
(1)	下水処理場の維持管理	25
ア	維持管理実績	25
1	水質試験結果	31
ウ	廃棄物試験結果	37
(2)	管渠管理延長	38
ア	布設年度別延長	38
イ	管渠管理延長	38
(3)	管渠等の改築・修繕及び維持管理	39
ア	改築	39
イ	修繕	39
ウ	清掃	39
I	点検・調査	39
才	耐震化	39
5 7	K洗化の普及	
(1)	水洗便所改造等助成及び融資あっ旋制度	40
ア	水洗便所改造等助成金制度の推移	40
イ	水洗便所改造等融資あっ旋制度の推移	40
(2)	水洗便所改造等助成金、融資あっ旋の状況	41
(3)	水洗化普及状況	42
6 j	団川及び水路	
(1)	主な水路一覧	43
(2)	主なため池一覧	43
(3)	主な樋門一覧	43
(4)	雨水ポンプ場	44
(5)	水路改良工事	44
(6)	水路等の維持管理	44
(7)	水路等の位置図	45

7	Ŧ	水道事業等の財政	
(1)	下水道使用料	46
	ア	料金体系の推移	46
	1	有収水量及び調定額の年度別状況	47
(2)	受益者負担金	48
	ア	負担区の状況	48
	イ	年度別収入状況	49
(3)	企業債残高の推移	50
(4)	収益的収支	51
(5)	資本的収支	53
(6)	貸借対照表	55
(7)	財務経営指標	57
8	浸	· 水対策事業	
(1)	雨水レベルアップ整備事業	59
	ア	事業の概要	59
	1	事業の経過	60
	ウ	事業実施の効果	61
(2)	雨水整備率	62
(3)	その他浸水対策	62
	ア	止水板設置助成状況	62
	イ	土のう配布	62
	ウ	内水浸水シミュレーション	62
	I ,	上の川調節池	62
(4)	浸水被害状況	62
9	妄		
(1)	事業の概要	63
(2)	安威川流域下水道の計画内容及び実施状況	64
	ア	全体計画及び事業計画内容	64
	イ	都市別内訳	64
	ウ	施設内容	64
1.0	41	体と	
10		織と職員	
	1)	組織	67
(2)	聯昌	67

11 広報「見せる化」

(1)	広報媒体設置	68
ア	デザインマンホール蓋	68
1	大阪関西万博機運醸成デザイン	マンホール蓋 68
(2)	広報活動	
ア	マンホールカード配布	
イ	「下水道の日」パネル展	69
ウ	下水道フェア	70
エ	下水道展	70
オ	デジタルスタンプラリー	70
カ	大阪マンホールEXPO	70
+	ゆいぴあ夏まつり	70
ク	スタジアムフェスタ	71
ケ	その他	72
(3)	広報誌掲載等	71
ア	市報「すいた」	71
1	TV放送等	71
(4)	見学会等	72
ア	水再生センター施設見学	72
イ	工事現場見学会	72
ウ	夏休み特別講座	72
エ	出前授業	72
(5)	広報素材	73
(6)	SNS活用	
(7)	官学連携	73



1.あゆみ

(1)吹田市公共下水道のあゆみ

本市の下水道事業は、昭和 34 年度(1959 年度)に、市南部地域において最も緊急の課題であった浸水対策事業として、ポンプ場用地の買収と幹線管渠整備工事に着手したのが始まりです。昭和 36 年度(1961 年度)にはポンプ場整備に着手し、その後、同ポンプ場に処理施設を設けて川面下水処理場に変更し、計画区域を拡大しながら、新たに川園ポンプ場も設けることとなりました。

一方、大阪府は、昭和 35 年(1960 年)に千里ニュータウンの建設にあたり下水道整備を進め、その終末処理場として正雀下水処理場を隣接する摂津市に設け、昭和 48 年(1973 年)に本市に引き継がれました。しかし、将来の敷地内更新が困難と判断し、流域下水道への編入を進め、平成 25 年(2013 年)にその機能を停止しました。

また、昭和 40 年(1965 年)には南吹田地区において土地区画整理事業が施行されることにより、南吹田下水処理場の整備とともに土地区画整理事業区域内の管渠整備も進められました。

その後、昭和42年(1967年)に大阪府において本市域を含めた安威川流域下水道の計画が策定され、処理場整備(現在の中央水みらいセンター)にあわせて本市の流域関連公共下水道区域内の管渠整備も進められました。

着手から「生活環境の改善」、「浸水の防除」、「公共用水域の水質保全」を目標に整備を進めた結果、平成23年度(2011年度)末には人口普及率(汚水系)が99.9%に達し、市内のほぼ全域でトイレを水洗化できるようになるなど、下水道事業は衛生的な生活環境の実現に寄与してきました。

しかし、浸水防除のための雨水施設整備については、全市の水洗化を優先課題として取組んだことから、汚水施設に比べて整備率は低くなっています。南部地域では集中豪雨の際に浸水被害が頻発しているため、雨水レベルアップ整備計画などの浸水対策に取組んでいます。

また、「建設」から「維持管理」への転換期を迎え、老朽化対策として平成 29 年度(2017年度)に「下水道ストックマネジメント計画」を、地震対策として平成 30 年度(2018年度)に「下水道総合地震対策計画」を策定するなど、各種対策への取組みを進めています。

管路の維持管理には今後の老朽化への取り組みを充実させるべく、令和3年度から包括的 民間委託を導入しており、令和6年度からは第2期業務を継続して実施しています。民間の 力を活用することにより、ワンストップでの市民対応とともに計画的な管路施設の点検・調 査を行っています。

このような中、経営の透明化、安定化を図ることを目的として、平成 29 年(2017年)4月1日から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、特別会計から地方公営企業会計に移行しました。令和5年度には「吹田市下水道事業経営戦略 2019」の中間見直しを実施し、5年間の社会情勢の変化などを分析、反映した改訂版を策定しました。

今後とも、市民生活になくてはならないインフラのひとつである下水道を持続可能な事業として運営し努めていくことが重要です。そのために、普段は見えにくく意識されにくい下水道の役割や課題、魅力などを積極的に発信していく"見せる化"についても取組みます。

(2) 年表

昭和	33年 12月	初めて川面処理区(旧第1ポンプ場及び第1排水区)の事業計画の認可を受ける
	34年度	下水道整備に着手
	37年 3月	大阪府企業局により千里ニュータウン区域の汚水処理のため正雀下水処理場が摂津市域
		に計画
	37年度	川面下水処理場雨水ポンプの運転を開始
	38年 8月	正雀下水処理場の運転を開始
	40年 3月	建設省令第12号に基づき受益者負担制度を施行
	41年 4月	吹田市下水道条例を制定
	7月	川面下水処理場の簡易処理を開始
	43年 7月	南吹田下水処理場雨水ポンプの運転を開始
	12月	川園ポンプ場の運転を開始
	44年 11月	安威川流域下水道組合(吹田市・高槻市・摂津市・茨木市・箕面市・島本町)が設立
	45年 3月	安威川流域中央下水処理場の運転を開始
	12月	安威川流域下水道組合が安威川・淀川右岸流域下水道組合に改称
	46年 7月	川面下水処理場の高級処理を開始
	8月	南吹田下水処理場の簡易処理を開始
	48年 4月	大阪府より千里丘陵住宅地区の下水道施設(正雀下水処理場を含む)を引継ぐ
		吹田市下水道事業受益者負担に関する条例を制定
	5月	初めて中央処理区(安威川流域関連公共下水道)の事業計画の認可を受ける
	7月	南吹田下水処理場の第1期工事が完成。高級処理を開始
	51年 4月	下水道使用料を改定し、累進制及び水質料金を導入
	55年 3月	吹田市公共下水道整備納入金要綱を制定
		下水道使用料を改定
	59年 4月	下水道使用料を改定
平成	2年 3月	南吹田下水処理場の第2期工事が完成。日最大87,600m³の処理が可能に
	4月	デザインマンホール蓋を採用
	5年 3月	川面下水処理場の最終沈殿池を増設。日最大40,800m³の処理が可能に
	8年 3月	下水道使用料を改定
	10年 3月	新世代下水道支援事業として川面下水処理場に処理水利用施設を設置
	12年 4月	雨量・水位監視システム(雨量計4か所、水位計1か所)の運用を開始
	12月	大阪府により大阪湾流域別下水道整備総合計画が策定
	13年 4月	雨量・水位監視システムに水位計2か所を追加
	15年 4月	上の川調節池(大阪府河川施設・吹田市管理)の運用を開始
	16年 3月	下水道使用料を改定
	17年 3月	合流式下水道緊急改善計画(川面処理区・南吹田処理区)を策定
	6月	雨水レベルアップ整備事業(豊津工区)に着手
	10月	下水処理場・ポンプ場の遠方監視システムの運用を開始
	19年 3月	新世代下水道支援事業として谷上池雨水浸透貯留施設を設置

20年	3月	安威川・淀川右岸流域下水道組合が解散
	4月	安威川・淀川右岸流域下水道協議会が設立
	5月	新世代下水道支援事業として雨水貯留タンク設置助成制度(5割助成)を開始
21年	6月	市制施行70周年記念事業として、雨水貯留タンク普及促進事業(9割助成)を開始
	10月	雨水レベルアップ整備事業(豊津工区)の雨水貯留管及び江の木公園ポンプを供用開始
22年	9月	南吹田下水処理場の汚泥焼却施設の運転を停止
	10月	下水道長寿命化計画(正雀処理区正雀川処理分区)を策定
23年	3月	新世代下水道支援事業として実施した、雨水貯留タンク普及促進事業(設置費用の助成
		等)を完了(平成21年度:629基、平成22年度:978基)
	4月	南吹田下水処理場の高度処理の供用を開始
24年	3月	下水道長寿命化計画(南吹田下水処理場)を策定
	6月	南吹田下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池設置工事に着手
	9月	川面下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池設置工事に着手
25年	2月	下水道長寿命化計画(川面下水処理場・川園ポンプ場)を策定
	9月	正雀下水処理場の運転を停止
26年	3月	新世代下水道支援事業として吹田操車場跡地周辺に高度処理水の送水設備を設置
	4月	川園ポンプ場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池(旧流量調整池)を供用開始
27年	2月	下水道長寿命化計画(中央処理区高川処理分区)を策定
	3月	川園ポンプ場の岸部ポンプ場送水受入を終了(安威川流域下水道岸部幹線の供用開始)
	4月	南吹田下水処理場・川面下水処理場 合流式下水道緊急改善事業 雨水滞水池を供用開始
28年	2月	下水道長寿命化計画(南吹田下水処理場・川園ポンプ場)を策定
	3月	雨水貯留タンク設置助成制度を廃止
	4月	吹田市公共下水道整備納入金要綱を廃止
		止水板設置助成制度を開始
	5月	雨水レベルアップ整備事業(中の島・片山工区)に着手
29年	4月	地方公営企業法の一部(財務規定等)適用を開始
	12月	吹田市下水道ストックマネジメント計画を策定
31年	1月	吹田市下水道総合地震対策計画を策定
	3月	吹田市下水道事業経営戦略を策定
		吹田市下水道業務継続計画(BCP)を策定
2年	3月	下水処理場の愛称を川面水再生センター、南吹田水再生センターに決定
3年	4月	下水道管路施設における包括的民間委託を開始
4年		吹田市耐水化計画を策定
		大阪下水道広報ぷらっとホーム推進チームにコアメンバーとして参画
6年		吹田市下水道事業経営戦略の中間見直し版を策定
	4月	雨水レベルアップ整備事業(中の島・片山工区)の雨水貯留管及び中の島公園ポンプの
		供用を開始 下水道管路施設における包括的民間委託が2期目(5年)開始
7/=	10	
7年	1月	吹田市上下水道耐震化計画を策定

令和



2. 下水道計画と整備状況

(1)計画概要

下水道施設は、上位計画や、将来の土地利用、人口などの状況を考慮して全体計画を定め、段階的に事業を実施するための事業計画を策定しています。

ア計画区域

河川等を除く全市域(約3,582ha)を公共下水道による計画区域としており、市域の約38%(約1,361ha)が「単独公共下水道区域」です。川面・南吹田の2処理区は、それぞれ吹田市の水再生センターで、庄内・十八条の2処理区は、各々、豊

中市と大阪市の下水処理場で処理しています。

また、市域の約 62% (約 2,221ha) は「流域関連公共下水道区域」であり、中央処理区として、茨木市にある大阪府の安威川流域下水道中央水みらいセンターで処理しています。

処理区処理分区

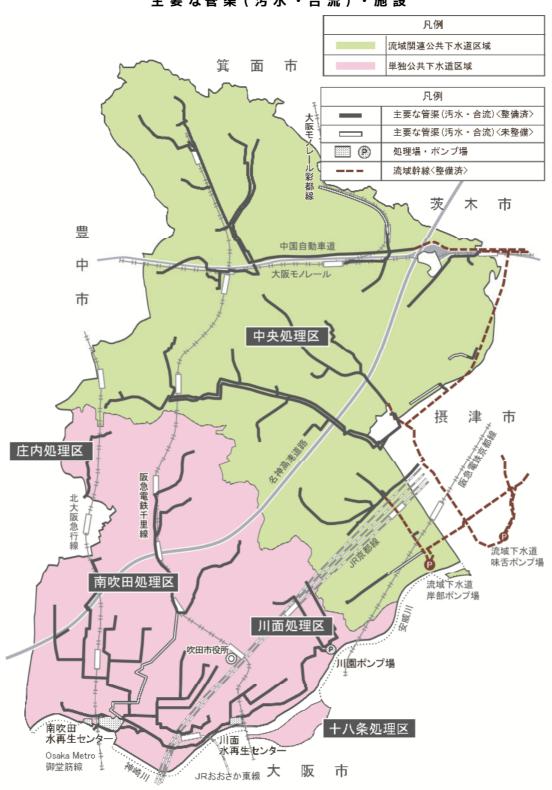


イ 汚水処理計画

汚水処理については、将来の1人当たりの汚水量や事業所排水量などを想定して汚水量や汚濁負荷量などを定め、上位計画や法令に基づく水質基

準を満たすよう各施設を計画し、水洗化による生 活環境の改善や、河川の水質保全に努めています。

主要な管渠(汚水・合流)・施設

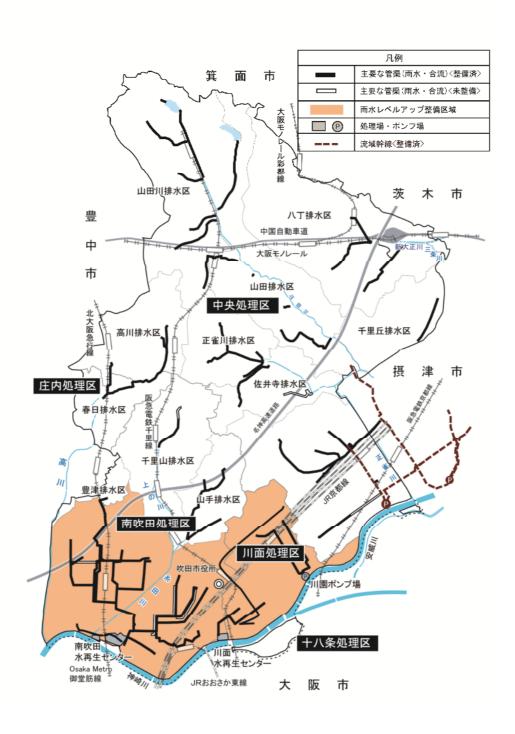


ウ雨水排除計画

雨水排除については、目標とする降雨の規模を 設定し、対象地域における将来の土地利用状況を 想定して雨水の流出量を定め、浸水を発生させな いように施設 を計画しています。

現在、吹田市では、10年に1回程度の確率で発生する大雨に対して安全な施設の整備を目標としています。

主要な管渠(雨水・合流)・施設



(2) 計画面積及び人口

ア 単独公共下水道

処 理 区 名	分 区 名	全体計画 面積 (ha)	全体計画 人口 (人)	事業計画 人口 (人)	摘要
	川面処理分区	65.61	9,720	9,720	合流式
川面処理区	川園処理分区	153.26	20,810	20,810	合流式
川岡龙珪区	馬 廻 処 理 分 区	21.20	1,370	1,370	合流式
	計	240.07	31,900	31,900	
	泉町処理分区	243.43	23,440	23,440	合流式
	豊 津 処 理 分 区	384.14	42,930	42,930	合流一部分流式
南吹田処理区	山 手 処 理 分 区	130.52	16,070	16,070	分流式
	千里山処理分区	227.80	26,350	26,350	分流式
	計	985.89	108,790	108,790	
十八条処理区	御旅町処理分区	29.38	1,290	1,290	合流式(大阪市へ流入)
庄 内 処 理 区	春日処理分区	106.07	15,570	15,570	分流式(豊中市へ流入)
単独2	公共下水道 合計	1,361.41	157,550	157,550	

イ 流域関連公共下水道

処理区名	分 区 名	全体計画 面積 (ha)	全体計画 人口 (人)	事業計画 人口 (人)	摘要
	八丁処理分区	530.95	13,838	13,838	分流式
	山 田 処 理 分 区	241.90	35,645	35,645	分流式
	岸 部 処 理 分 区	183.52	13,686	13,686	合流式
	千里丘処理分区	142.53	20,985	20,985	分流式
	山田川処理分区	442.00	32,837	32,837	分流式
中央処理区	小路処理分区	215.08	24,019	24,019	合流式
	味 舌 処 理 分 区	4.50	135	135	合流式
	茨 木 摂 津 処 理 分 区	1.27	185	185	分流式
	高川処理分区	169.00	19,090	19,090	分流式
	正雀川処理分区	150.00	11,590	11,590	分流式
	佐井寺処理分区	139.87	22,340	22,340	分流式
流 域 関 連 公 共	下 水 道 合 計	2,220.62	194,350	194,350	
合	計	3,582.03	351,900	351,900	

(3) 都市計画、事業認可及び事業計画の経過

ア 都市計画の経過

	計画決定年月日	
Au = 0	告示番号	
創 設	昭和34年9月16日 建設省告示第1771号	第1排水区約65.612ha、延長24,749.50m、第1ポンプ場敷地1.3587ha
第1回変更	昭和37年3月19日 建設省告示第660号	正雀川排水区約154ha·高川排水区約61ha、延長51.208m
第2回変更	昭和38年9月12日 建設省告示第2387号	正雀川排水区約156ha·高川排水区約55ha·山田川排水区約451ha
第3回変更	昭和39年3月31日 建設省告示第1073号	第1排水区→川面排水区約65.612ha・川園排水区約153.262ha、延長33,274.5m 第1ポンプ場→川面処理場(編入)・川園ポンプ場敷地約0.6231ha、川面処理場敷地 約1.5052ha
第4回変更	昭和40年3月31日 建設省告示第1039号	正雀川排水区約156ha·高川排水区約180ha·山田川排水区約451ha
第5回変更	昭和40年11月10日 建設省告示第3150号	川面・川園排水区約218.9ha・豊津・泉町排水区約279.7ha、延長19,610m、 川園ポンプ場約0.62ha、川面処理場約1.51ha・南吹田処理場約4.73ha
第6回変更	昭和42年11月6日 建設省告示第3679号	川面・川園排水区約218.9ha・豊津・泉町排水区約771.5ha、延長34,780m、 川園ポンプ場約0.69ha、川面処理場約1.51ha・南吹田処理場約4.98ha
第7回変更	昭和44年3月4日 建設省告示第465号	川面・川園・馬廻排水区約240.1ha・豊津・泉町・千里山・春日排水区約1,080.0ha・御旅町排水区約29.4ha・正雀川・高川・山田川排水区約787.0ha、延長84,120m、川園ポンプ場約0.7ha・春日ポンプ場約0.1ha・高川中継ポンプ場約0.1ha、川面処理場約1.5ha・南吹田処理場約5.1ha・正雀処理場約4.5ha
第8回変更	昭和45年4月14日 吹田市告示第13号	南吹田処理区延長287,390m、処理面積:1,349.5ha 川面処理場汚泥を南吹田処理場へ圧送
第9回変更	昭和46年7月23日 吹田市告示第23号	流域関連他の処理面積を追加 処理面積3,576.3ha、延長667,870m、 庄内処理区・春日ポンプ場の廃止
第10回変更	昭和56年7月22日 吹田市告示第62号	下水道の名称の変更:○○排水区→吹田市○○処理区公共下水道 岸部・千里丘・山田・八丁排水区を安威川流域関連に変更 川面約240ha・南吹田約986ha・正雀約1,113ha・十八条約29ha・庄内約106ha ・安威川流域関連公共下水道約1,107ha、延長710.933m、 川園ポンプ場約6,943㎡・高川ポンプ場約1,200㎡、川面下水処理場 約18,555㎡ ・南吹田下水処理場 約51,330㎡・正雀下水処理場 約45,000㎡
第11回変更	昭和59年2月14日 吹田市告示第15号	南吹田処理区・南吹田下水処理場の敷地面積変更 南吹田下水処理場 51,330㎡→99,450㎡
第12回変更	昭和59年11月5日 吹田市告示第165号	正雀処理区・正雀前処理場の追加 正雀前処理場約2,000㎡
第13回変更	昭和63年3月2日 吹田市告示第31号	正雀処理区・処理区の変更、安威川流域関連へ追加 吹田市正雀処理区公共下水道約459ha・吹田市安威川流域関連公共下水道約 1,762ha、延長397,720m
第14回変更	平成2年2月24日 吹田市告示第28号	庄内処理区・春日幹線ルート変更 中央処理区・山田1号幹線、山田2号幹線ルート変更
第15回変更	平成5年2月26日 吹田市告示第29号	幹線管渠表示方法の変更(20ha → 100ha)(全市域)、市全域:延長11,500m 正雀下水処理場の汚水調整池の設置等
第16回変更	平成11年12月10日 吹田市告示第332号	幹線管渠表示方法の見直し(100ha → 1,000ha)(全市域)、市全域:延長6410m
第17回変更	平成12年10月4日 吹田市告示第297号	川面処理区・川園ポンプ場の敷地面積変更 川園ポンプ場 6,940㎡→約6,846㎡
第18回変更	平成16年12月28日 吹田市告示第444号	名称変更(全市域)吹田都市計画下水道 → 北部大阪都市計画下水道
第19回変更	平成25年3月29日 吹田市告示第65号	正雀下水処理場を廃止し、正雀処理区を安威川流域関連に編入 吹田市正雀処理区公共下水道(編入)0ha・吹田市安威川流域関連公共下水道約 2.221ha、高川ポンプ場(都計要件外のため廃止)、正雀下水処理場(廃止)、正雀前 処理場(廃止)

イ 都市計画法事業認可の経過

事業計画の認可年月日	.
告示番号	- 内 容
昭和34年9月16日	執行年度:S34 ~ S38
建設省告示第1771号	計画決定と同じ。
昭和37年3月19日	執行年度: S36 ~ S38、正雀処理区
建設省告示第 660号	計画決定と同じ。
昭和38年9月12日	執行年度:S36 ~ S39、正雀処理区
建設省告示第2387号	計画決定と同じ。
昭和39年3月31日	執行年度:S34 ~ S44
建設省告示第1073号	計画決定と同じ。
昭和40年3月31日	執行年度:S36 ~ S40、正雀処理区
建設省告示第1039号	計画決定と同じ。
昭和40年11月10日	執行年度: S34 ~ S46、川面・南吹田処理区
建設省告示第3150号	計画決定と同じ。
昭和42年11月6日	執行年度: S34 ~ S48、川面・南吹田処理区
建設省告示第3679号 昭和44年3月4日	計画決定と同じ。 執行年度: S34 ~ S50
建設省告示第465号	7.11
昭和45年6月12日	計画決定と同じ。 執行年度: S34 ~ S53
大阪府告示第790号	- 現11年度: 334 ~ 333 処理面積、川面処理場から南吹田処理場へ汚泥圧送
昭和48年7月6日	執行年度: S34 ~ S53
大阪府告示第1017号	計画人口:362,900人、処理面積:2,518.6ha
昭和54年3月28日	執行年度: S34 ~ S58、川面·正雀処理区
大阪府告示第461号	年度延伸南吹田・十八条・中央
昭和57年4月30日	執行年度: S40 ~ S63
大阪府告示第608号	処理区毎に分割、川面処理区の計画人口水量見直し
昭和59年3月26日	執行年度: S59 ~ S62
大阪府告示第352号	庄内処理区処理面積:10ha
昭和60年2月12日	執行年度:S40 ~ S66
大阪府告示第143号	正雀前処理場追加、南吹田処理場拡張・水量見直し
昭和62年2月18日	執行年度: S40 ~ S67、南吹田処理区
大阪府告示第200号	処理面積:836ha → 986ha
昭和62年3月30日	執行年度: S59 ~ S66、庄内処理区
大阪府告示第459号	処理面積:10ha → 21ha
昭和63年2月29日	執行年度:S48 ~ S68
大阪府告示第235号	中央処理区流域関連の年度延伸
昭和63年3月30日	執行年度:S34 ~ S68
大阪府告示第425号	川面処理区の年度延伸
昭和63年6月27日	執行年度: S36 ~ S68、全市域処理面積: 3,581ha
大阪府告示第832号	正雀処理区:1,113ha → 459ha
昭和63年6月27日	執行年度: S48 ~ S68、計画人口: 172,800人
大阪府告示第833号	中央処理区:1,102ha → 1,761ha
平成2年7月2日	執行年度: S59 ~ H8、庄内処理区
大阪府告示第829号	処理面積: 21ha → 106ha、計画決定(平成2年第28号)と同じ。
	執行年度:S48~ H8、中央処理区
平成5年3月29日	処理面積:1,761ha、幹線変更 執行年度:S40 ~ H11
大阪府告示第528号	南吹田処理区の年度延伸
八成小 日小为520万	朝秋田処理区の平度延伸 執行年度:S36 ~ H11
	正雀処理区の年度延伸、下水道法事業認可(平成4年第27号)と同じ。
	エモだ在中の千尺だけ、「小足の事不恥り、下八十十九年7/10円し。

事業計画の認可年月日	th 27
告示番号	内容
平成6年2月16日 大阪府告示第238号	執行年度: S34 ~ H11、川面処理区 執行年度: S59 ~ H11、庄内処理区 執行年度: S48 ~ H11、中央処理区 年度延伸、計画決定変更(平成5年第29号)と同じ。
平成9年10月1日 大阪府告示第1481号 平成12年3月31日 大阪府告示第593号	執行年度: S48 ~ H15、中央処理区:1,761ha→1,762ha 茨木摂津処理分区の追加 執行年度: S34 ~ H17、川面処理区 執行年度: S40 ~ H17、南吹田処理区 執行年度: S36 ~ H17、正雀処理区 執行年度: S59 ~ H17、庄内処理区 年度延伸、幹線管渠の表示変更(100ha → 1,000ha)
平成16年3月30日 大阪府告示第674号 平成18年3月24日 大阪府告示第687号	執行年度: S48 ~ H22、中央処理区 年度延伸、幹線管渠の表示変更(100ha → 1,000ha) 執行年度: S34 ~ H22、川面処理区 執行年度: S40 ~ H22、南吹田処理区 執行年度: S48 ~ H22、正雀処理区 執行年度: S59 ~ H22、庄内処理区 年度延伸 事業の名称変更
平成23年3月30日 大阪府告示第437号	川園ポンプ場の区域変更(約6,940m ² →約6,846m ²) 執行年度: S34~H28、川面処理区 執行年度: S40~H28、南吹田処理区 執行年度: S48~H28、正雀処理区 執行年度: S59~H28、庄内処理区 年度延伸
平成23年3月30日 大阪府告示第438号 平成25年3月29日 大阪府告示第806号 平成25年3月29日 大阪府告示第807号	執行年度: S48~H24、中央処理区 年度延伸 正雀処理区を安威川流域関連公共下水道へ編入するため事業期間を短縮。 執行年度: S48~H24、正雀処理区 執行年度: S34~H30、川面処理区 執行年度: S40~H30、南吹田処理区 執行年度: S59~H30、庄内処理区 執行年度: S48~H30、中央処理区 処理面積1,762ha→2,221ha
平成27年3月27日 大阪府告示第510号	年度延伸 執行年度: S34~H33、川面処理区 執行年度: S40~H33、南吹田処理区 執行年度: S59~H33、庄内処理区 年度延伸
平成28年4月18日 大阪府告示第689号 令和4年3月28日 大阪府告示第463号	執行年度: S48~H34、中央処理区 年度延伸 執行年度: R3~R7、十八条処理区 認可取得
令和4年3月28日 大阪府告示第466号	執行年度: S34~R7、川面処理区 執行年度: S40~R7、南吹田処理区 執行年度: S59~R7、庄内処理区 年度延伸

事業計画の認可年月日	内 容
告示番号	'' -
令和4年3月28日	執行年度:S48~R6、中央処理区
大阪府告示第467号	年度延伸
令和7年3月31日	執行年度: S48~R12、中央処理区
大阪府告示第453号	年度延伸
令和7年3月31日	執行年度:S34~R12、川面処理区
大阪府告示第454号	執行年度:S40~R12、南吹田処理区
	執行年度:S59~R12、庄内処理区
	執行年度: R3~R12、十八条処理区
	年度延伸

ウ 下水道法事業計画の経過

① 単独公共下水道事業

認可年月日・認可番号	内 容
昭和33年12月24日	第1事業区の創設
建設阪都第302 号	(川面処理区)
昭和36年5月10日	正雀下水処理場の創設
厚阪衛第312 号	
昭和37年3月31日	正雀処理区の創設
建阪都第129号	
昭和37年6月11日	正雀下水処理場の拡張
厚発環第190号	
昭和38年5月31日	正雀処理区
建阪都第223号	do he rm
昭和38年11月20日	正雀処理区
建阪都第144号	## 4 1° → PIR 1 1 1 1 1 T T T 1 2 M T T IR 1 T T T T
昭和39年3月6日	第1ポンプ場より川面下水処理場に変更
建阪都第74号	工少加研区(曲九主八)
昭和39年3月11日	正雀処理区(豊中市分)
建阪都第97号	川帝が理区
昭和39年3月28日 厚発環第113号	川面処理区
厚宪琼第113亏 昭和40年5月11日	川面処理区・川園処理分区の追加
建阪都第171号	南吹田処理区の創設
昭和40年5月29日	正雀処理区・処理面積の拡大
建阪都第215号	
昭和40年10月14日	正雀処理区(豊中市分)
建阪都第417号	
昭和40年11月4日	川面下水処理場の拡大
厚発環第762号	南吹田下水処理場の創設
昭和43年7月5日	川面処理区・川園ポンプ場の変更
建阪都第35号2	南吹田処理区の拡大
昭和44年3月18日	川面処理区・馬廻処理分区の追加
建阪都下発第16号2	国次処理区(現在の十八条処理区)の創設、南吹田処理区
昭和44年3月18日	正雀処理区
建阪都下発第25号2	高川ポンプ場の変更
昭和45年7月7日	南吹田下水処理場の拡張
建阪都下発第29号2	川面下水処理場から南吹田下水処理場へ汚泥圧送
昭和48年3月28日	庄内処理区の創設、十八条処理区の人口見直し
建阪都下発第14号	川面処理区、正雀処理区、南吹田処理区の拡大
昭和57年3月20日	川園ポンプ場・川面下水処理場の見直し
建阪都下公発第1号	南吹田処理区、正雀処理区、十八条処理区、庄内処理区
昭和59年12月14日	南吹田下水処理場の見直し
建阪都下公発第20号	正雀前処理場の追加
昭和63年5月23日	正雀下水処理場の見直し
建阪都下公発第12号	処理面積の縮小
平成2年3月20日	管渠の見直し 南水田田区 正文加田区 庄中加田区
建阪都下公発第7号 平成4年10月9日	南吹田処理区、正雀処理区、庄内処理区 正雀下水処理場流量調整池沈砂の追加
平成4年10月9日 建阪都下公発第27号	エ 隹「小だ垤场派里過輩池が炒り追加
连队都下公宪第27 万 平成12年3月3日	年度延伸:S34 ~ H18年度
建阪都下公発第6号	川面・南吹田・正雀・庄内・十八条処理区
生成品「ム元为0つ	四四 田火山 正臣 江门 一八木だ性区

認可年月日・認可番号	内容
平成15年3月28日 府指令下第299号	雨水レベルアップ整備事業 川面・南吹田・正雀・庄内・十八条処理区
平成17年3月15日 府指令下第2057号	大阪湾流域別下水道整備総合計画適合による全体計画の 見直し及び南吹田下水処理場の一部を高度処理方式に変更 川面・南吹田・正雀・庄内・十八条処理区
平成20年3月28日 府指令下第2207号	雨水レベルアップ整備事業貯留水排水ポンプの追加 下水道法施行令の改正に伴う川面下水処理場、南吹田下水処理場、 正雀下水処理場の計画放流水質の設定
平成23年3月23日 府指令下第2068号	大阪湾流域別下水道整備総合計画の見直しに伴う事業計画 諸元と施設計画の見直し(南吹田・川面・正雀処理区) 雨水計画の見直し(佐井寺・正雀川排水区) 南吹田下水処理場、川面下水処理場における合流改善施設 (雨水滞水池等)の位置づけ 南吹田下水処理場における汚泥燃料化施設の位置づけ 正雀処理区流域編入に伴う接続管渠の位置づけ

協議完了年月日・府文書番号	内 容
平成25年3月29日 下第2186号	大阪湾流域別下水道整備総合計画への適合(十八条処理区) 雨水計画の見直し(春日排水区) 正雀処理区を安威川流域関連公共下水道区域に編入 (正雀下水処理場、正雀前処理場、高川ポンプ場の廃止 汚水幹線管渠の廃止、正雀下水処理場の吐口の廃止) 佐井寺、正雀川、高川排水区(雨水)を安威川流域関連公共 下水道区域に編入
平成27年3月31日 下第2155号	大阪湾流域別下水道整備総合計画への適合(庄内処理区) 雨水レベルアップ整備計画の見直し(南吹田・川面処理区) 雨水計画の見直し(千里山排水区の一部) 雨水レベルアップ整備計画における貯留水排水ポンプの 予備機の位置づけ
平成29年3月27日 下第2049号	改正下水道法に基づく記載事項の追加 川面処理区下水道浸水被害軽減総合計画の位置づけ
令和2年3月30日 下第2753号	南吹田下水処理場放流ポンプ能力変更 川園ポンプ場雨水ポンプ能力変更
令和4年3月23日 下第2756号	千里山排水区排水分区界の変更・統合 高川への計画放流量の変更 川園ポンプ場雨水ポンプ割付変更
令和5年6月8日 下第1266 号	千里山排水区における土地区画整理事業に伴う雨水計画の変更 主要な管渠の見直し(川面処理区/圧送幹線二条化) 主要な管渠の見直し(南吹田処理区)
令和7年3月28日 下第2607号	千里山処理分区における土地区画整理事業に伴う汚水計画の変更 南吹田下水処理場における汚泥処理方法の変更 (燃料化施設から場外搬出への変更) ・年度延伸: S34 ~R12年度

② 流域関連公共下水道事業

認可年月日・認可番号	内容
昭和48年5月30日	中央処理区の創設
大指令下第56号	
昭和54年3月6日	年度延伸:S48 ~ S58年度
府指令下第104号	
昭和57年2月4日	管渠の変更
府指令下第745号	
昭和63年2月12日	年度延伸:S48 ~ S68年度
府指令下第372号	
昭和63年5月23日	区域面積拡大
府指令下第429号	
平成2年3月13日	管渠の見直し
府指令下第454号	
平成9年3月17日	年度延伸:S48 ~ H15年度
府指令下第353号	茨木摂津処理分区の追加
平成16年3月25日	年度延伸:S48 ~ H22年度
府指令下第2740号	大阪湾流域別下水道整備総合計画の適合
平成23年3月23日	年度延伸:S48 ~ H24年度
府指令下第2397号	吹田操車場跡地のまちづくり利用に伴う岸部・小路処理分区界の変更
	高度処理水利用のため圧送管・ポンプの位置づけ
	雨水計画の見直し(八丁・山田川・山田排水区)

協議完了年月日・府文書番号	内容
平成25年3月29日	年度延伸: S48 ~ H30年度
下第2185 号	大阪湾流域別下水道整備総合計画に適合
	正雀処理区を安威川流域関連公共下水道区域に編入
	茨木摂津処理分区の区域の変更
	雨水計画の見直し(高川排水区)
	単独公共下水道区域の佐井寺、正雀川、高川排水区(雨水)を
	安威川流域関連公共下水道区域に編入
平成28年3月28日	年度延伸:S48 ~ H34年度
下第2107号	主要な管渠の見直し(岸部処理分区岸部幹線の一部)
	処理分区界の見直し(八丁・岸部処理分区の一部)
A	改正下水道法に基づく記載事項の追加
令和3年9月13日	年度延伸: S48 ~ R6年度
下第1868号	主要な管渠の見直し(高川排水区の一部)
令和7年3月28日	年度延伸: S48 ~ R12年度
下第2609号	主要な管渠の見直し(佐井寺処理分区)
	処理分区界の見直し(岸部・小路処理分区ほか)

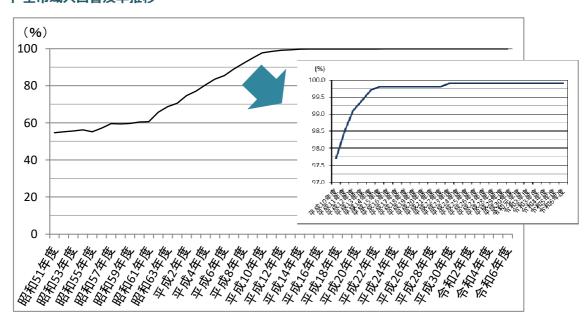
(4) 普及状況

ア 人口普及率

年 度	令和4	令和4年度(2022年度)			令和5年度(2023年度)			令和6年度(2024年度)		
	行政人口	処理人口	普及率	行政人口	処理人口	普及率	行政人口	処理人口	普及率	
処理区	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	(%)	
川面処理区	30,982	30,982	100.0	30,978	30,978	100.0	31,301	31,301	100.0	
川面処理分区	9,897	9,897	100.0	9,918	9,918	100.0	9,962	9,962	100.0	
川園処理分区	20,012	20,012	100.0	20,018	20,018	100.0	20,309	20,309	100.0	
馬廻処理分区	1,073	1,073	100.0	1,042	1,042	100.0	1,030	1,030	100.0	
南吹田処理区	126,000	125,954	100.0 *	127,568	127,530	100.0 *	129,439	129,397	100.0 *	
泉町処理分区	25,639	25,639	100.0	26,018	26,018	100.0	26,189	26,189	100.0	
豊津処理分区	54,622	54,622	100.0	55,890	55,890	100.0	57,683	57,683	100.0	
山手処理分区	16,733	16,720	99.9	16,687	16,678	99.9	16,811	16,796	99.9	
千里山処理分区	29,006	28,973	99.9	28,973	28,944	99.9	28,756	28,729	99.9	
十八条処理区	1,230	1,230	100.0	1,251	1,251	100.0	1,303	1,303	100.0	
御旅町処理分区	1,230	1,230	100.0	1,251	1,251	100.0	1,303	1,303	100.0	
庄内処理区	17,536	17,536	100.0	17,515	17,515	100.0	17,445	17,445	100.0	
春日処理分区	17,536	17,536	100.0	17,515	17,515	100.0	17,445	17,445	100.0	
中央処理区	205,490	205,317	99.9	205,024	204,859	99.9	204,814	204,649	99.9	
八丁処理分区	19,264	19,264	100.0	19,424	19,424	100.0	19,309	19,309	100.0	
山田処理分区	34,171	34,171	100.0	33,799	33,799	100.0	33,418	33,418	100.0	
岸部処理分区	12,455	12,389	99.5	12,514	12,448	99.5	12,427	12,360	99.5	
千里丘処理分区	26,575	26,492	99.7	26,638	26,561	99.7	26,504	26,426	99.7	
山田川処理分区	33,863	33,863	100.0	33,791	33,791	100.0	34,444	34,444	100.0	
小路処理分区	25,997	25,975	99.9	26,274	26,254	99.9	26,410	26,392	99.9	
味舌処理分区	496	496	100.0	500	500	100.0	551	551	100.0	
茨木摂津処理分区	147	147	100.0	146	146	100.0	144	144	100.0	
高川処理分区	21,945	21,945	100.0	21,558	21,558	100.0	21,352	21,352	100.0	
正雀川処理分区	11,273	11,273	100.0	11,337	11,337	100.0	11,379	11,379	100.0	
佐井寺処理分区	19,304	19,302	100.0 *	19,043	19,041	100.0 *	18,876	18,874	100.0 *	
全 市 域	381,238	381,019	99.9	382,336	382,133	99.9	384,302	384,095	99.9	

注) 普及率に「※」が付いているものは、普及率を四捨五入した結果、100.0%となるものを示す。

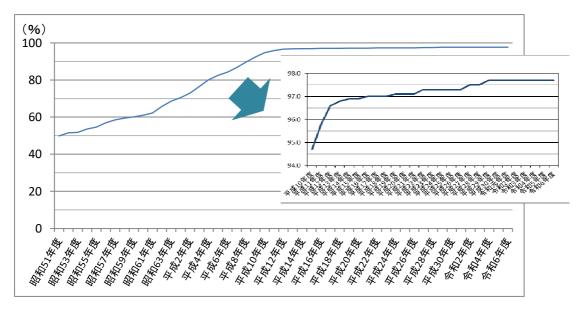
イ 全市域人口普及率推移



ウ 面積普及率

年 度	計画面積	令和4年度(2	022年度)	令和5年度(2	023年度)	令和6年度(2024年度)	
	可凹凹傾 (ha)	処理面積	普及率	処理面積	普及率	処理面積	普及率
処理区	(III)	(ha)	(%)	(ha)	(%)	(ha)	(%)
川面処理区	240.074	240.074	100.0	240.074	100.0	240.074	100.0
川面処理分区	65.612	65.612	100.0	65.612	100.0	65.612	100.0
川園処理分区	153.262	153.262	100.0	153.262	100.0	153.262	100.0
馬廻処理分区	21.200	21.200	100.0	21.200	100.0	21.200	100.0
南吹田処理区	985.890	984.800	99.9	984.800	99.9	984.800	99.9
泉町処理分区	243.430	243.430	100.0	243.430	100.0	243.430	100.0
豊津処理分区	384.140	383.500	99.8	383.500	99.8	383.500	99.8
山手処理分区	130.520	130.340	99.9	130.340	99.9	130.340	99.9
千里山処理分区	227.800	227.530	99.9	227.530	99.9	227.530	99.9
十八条処理区	29.380	29.170	99.3	29.170	99.3	29.170	99.3
御旅町処理分区	29.380	29.170	99.3	29.170	99.3	29.170	99.3
庄内処理区	106.070	104.390	98.4	104.390	98.4	104.390	98.4
春日処理分区	106.070	104.390	98.4	104.390	98.4	104.390	98.4
中央処理区	2,220.620	2,142.330	96.5	2,142.370	96.5	2,142.370	96.5
八丁処理分区	530.950	530.950	100.0	530.950	100.0	530.950	100.0
山田処理分区	241.900	238.280	98.5	238.280	98.5	238.280	98.5
岸部処理分区	183.520	113.390	61.8	113.390	61.8	113.390	61.8
千里丘処理分区	142.530	139.760	98.1	139.760	98.1	139.760	98.1
山田川処理分区	442.000	442.000	100.0	442.000	100.0	442.000	100.0
小路処理分区	215.080	213.380	99.2	213.380	99.2	213.380	99.2
味舌処理分区	4.500	4.500	100.0	4.500	100.0	4.500	100.0
茨木摂津処理分区	1.270	1.270	100.0	1.270	100.0	1.270	100.0
高川処理分区	169.000	169.000	100.0	169.000	100.0	169.000	100.0
正雀川処理分区	150.000	150.000	100.0	150.000	100.0	150.000	100.0
佐井寺処理分区	139.870	139.800	99.9	139.840	100.0	139.840	100.0
全 市 域	3,582.034	3,500.764	97.7	3,500.804	97.7	3,500.804	97.7

工 全市域面積普及率推移

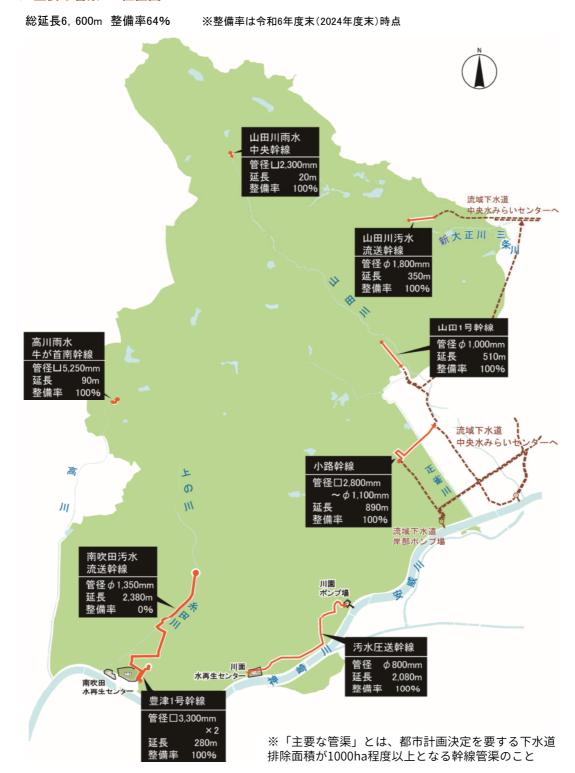




3.下水道施設の計画と概要

(1) 管渠及びマンホールポンプ施設等の概要

ア主要な管渠※の位置図



イ 管渠整備延長

年 度	処 理 区	延長			径	別 延
		(m)	ф250mm以下	ф300~350mm	ф400~500mm	ф600~700mm
昭和34年度	南吹田処理区	228,240				
	川面処理区	80,772				
(1959年度)	庄内処理区	14,359				
A和二年库	十八条処理区	3,750				
令和元年度 (2019年度)	中央処理区	349,249				
(2019年度)	計	676,369				
	南吹田処理区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	川面処理区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
令和2年度	庄 内 処 理 区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(2020年度)	十八条処理区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	中央処理区	79.50	44.55	0.00	34.95	0.00
	計	79.50	44.55	0.00	34.95	0.00
	南吹田処理区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	川面処理区	2,703.00	0.00	0.00	0.00	0.00
令和3年度	庄 内 処 理 区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(2021年度)	十八条処理区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	中央処理区	141.27	34.97	3.70	102.60	0.00
	計	2,844.27	34.97	3.70	102.60	0.00
	南吹田処理区	515.65	123.60	0.00	0.00	0.00
	川面処理区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
令和4年度	庄 内 処 理 区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(2022年度)	十八条処理区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	中央処理区	375.81	44.50	243.63	37.98	12.20
	計	891.46	168.10	243.63	37.98	12.20
	南吹田処理区	63.76	20.60	43.16	0.00	0.00
	川面処理区	763.44	0.00	0.00	147.74	0.00
令和5年度	庄 内 処 理 区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(2023年度)	十八条処理区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	中央処理区	502.30	0.00	3.80	0.00	4.45
	計	1,329.50	20.60	46.96	147.74	4.45
	南吹田処理区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	川面処理区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
令和6年度	庄 内 処 理 区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(2024年度)	十八条処理区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	中央処理区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	Ħ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合	計	681,514				

長	内 訴		排除了	方式 別 延 長	内 訳	
ф800	ф1,100	ф1,500	ф2,000mm	分 流	式	合流式
~1,000mm	~1,350mm	~1,800mm	以上	汚水管	雨水管	合流管
				359,	354	317,138
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	34.95	44.55
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	34.95	44.55
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	2,703.00	0.00	0.00	2,703.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	141.27	0.00
0.00	0.00	0.00	2,703.00	0.00	141.27	2,703.00
0.00	392.05	0.00	0.00	123.60	392.05	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
37.50	0.00	0.00	0.00	44.50	108.41	222.90
37.50	392.05	0.00	0.00	168.10	500.46	222.90
0.00	0.00	0.00	0.00	20.60	0.00	43.16
389.00	168.20	58.50	0.00	0.00	0.00	763.44
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
494.05	0.00	0.00	0.00	502.30	0.00	0.00
883.05	168.20	58.50	0.00	522.90	0.00	806.60
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

^{*} 管渠の延長は四捨五入しているので必ずしも合計と一致しません

ウ マンホールポンプ主要仕様・設置個所一覧

名 称	主	要	仕	様		管	理	籄	所
中央処理	区 山田処理	對区							
山田 1	ϕ 65 × 0.27m ³ /	分×5.3m>	< 0.75kW		2台	山田東1	丁目12番31号	를	
山田 2	ϕ 65 × 0.27m ³ /	分×4.6m>	< 1.5kW		2台	山田東2	丁目5番8号		
山田 3	ϕ 65 × 0.27m 3 /	分×5.1m>	< 0.75kW		2台	山田東2	丁目6番15号		
山田 4	ϕ 65 × 0.27m ³ /	分×6.0m>	< 1.5kW		2台	山田東2	丁目37番5号		
山田 5	ϕ 65 × 0.16m 3 /	分×8.5m>	< 2.2kW		2台	山田東2	丁目33番1号		
山田 6	ϕ 80 × 0.43 m ³ /	分×5.0m>	< 2.2kW		2台	山田東2	丁目14番1号		
山田 7	ϕ 80 × 0.47m ³ /	分×7.0m>	< 2.2kW		2台	山田東2	丁目29番14号]	
山田 8	ϕ 50 × 0.26m ³ /	分×3.9m>	< 0.75kW		2台	山田東4	丁目32番8号		
山田 9	ϕ 80 × 0.62m ³ /	分×11m×	3.7kW		2台	山田東4	丁目1番39号		
山田10	ϕ 50 × 0.26m ³ /	分×5.1m>	< 0.75kW		2台	山田東4	丁目4番3号		
山田11	ϕ 80 × 0.73 m ³ /	分×18.2m	× 7.5kW		2台	山田東4	丁目5番2号		
山田12	ϕ 80 × 0.47m ³ /	分×3.7m>	< 2.2kW		2台	山田東4	丁目30番19号	}	
山田13	ϕ 50 × 0.26m ³ /	分×5.7m>	< 0.75kW		2台	山田東4	丁目5番19号		
山田14	ϕ 65 × 0.27m ³ /	分×5.5m>	< 1.5kW		2台	山田東4	丁目26番28号	}	
山田15	ϕ 50 × 0.26m ³ /	分×5.1m>	< 0.75kW		2台	山田東4	丁目9番7号		
山田16	ϕ 50 × 0.26m ³ /	分×5.1m>	< 0.75kW		2台	山田東4	丁目9番39号		
山田17	ϕ 80 × 0.47m ³ /	分×4.9m>	< 2.2kW		2台	山田東4	丁目25番18号]	
山田18	ϕ 80 × 0.47m ³ /	分×5.5m>	< 2.2kW		2台	山田東4	丁目9番31号		
山田19	ϕ 65 × 0.27m ³ /	分×6.4m>	< 1.5kW		2台	山田東4	丁目12番3号		
山田20	ϕ 65 × 0.27m ³ /	分×3.8m>	< 1.5kW		2台	山田東4	丁目22番14号]	
山田21	$\phi 65 \times 0.27 \text{m}^3/$	分×9.1m>	< 1.5kW		2台	山田東2	丁目10番15号]	
中央処理	区 佐井寺処	心理分区							
山田南	ϕ 65 × 0.27m 3 /	分×4.1m>	< 1.5kW		2台	岸部北5	丁目18番19号	7	
中央処理	区 高川処理	2分区							
	ϕ 150 × 2.31 m ³		n ¥ 10 5kW		2台	桃山台4	丁目591番		
1217-1	ψ 100 × 2.01111	/ /J / 14.01	11 / 10.5KW		- 11	ти п п	, n oo i m		
中央処理	区 千里丘奴	见理分区							
尺谷	$\phi 65 \times 0.27 \text{m}^3/$	分×6.0m>	< 1.5kW		2台	尺谷29番	春 3号		
庄内処理	区 春日処理	對区							
春日 1	ϕ 50 × 0.26m $^{3}/$	分×2.5m>	< 0.75kW		2台	春日2丁	目1番6号		
春日 2	ϕ 80 × 0.47m ³ /	分×2.5m>	< 2.2kW		2台	春日2丁	目1番3号		
春日 3	ϕ 80 × 0.52m ³ /	分×4.8m>	< 2.2kW		2台	春日2丁	目2番12号		
春日 4	ϕ 50 × 0.26m ³ /	分×5.1m>	< 0.75kW		2台	春日2丁	目2番1号		
春日 5	ϕ 50 × 0.26m ³ /	分×3.6m>	< 0.75kW		2台	春日2丁	目14番14号		
春日 6	ϕ 50 × 0.26m ³ /	分×3.1m>	< 0.75kW		2台	春日2丁	目14番10号		
春日 7	ϕ 65 × 0.27m ³ /	分×4.5m>	< 1.5kW		2台	春日2丁	目14番3号		
春日 8	$\phi 100 \times 1.08 \text{m}^3$	/分×3.1m	× 5.5kW		2台	春日3丁	目1番13号		
春日 9	ϕ 65 × 0.27m ³ /	分×2.4m>	< 1.5kW		2台	春日3丁	目3番4号		
春日10	ϕ 65 × 0.27m ³ /	分×4.7m>	< 1.5kW		2台	春日3丁	目4番5号		

合計 34か所

(2) 下水道法事業計画(処理場・ポンプ場)

ア処理施設

		敷 地		計画	処理能力			
名 称	位 置	カル 面積 (ha)	処理方法 放流 水質		晴天日 最大 (m³/日)	雨天日 最大 (m³/日)	計 画 処理人口 (人)	摘要
			活性					全体計画処理能力
								25,300m ³ /日
川 面	吹田市	1.86		BOD 15 mg/L	5 25,300	111,500	31,900	予 定 水 質
下水処理場	川岸町地内	1.00	汚 泥 法			0 111,000	31,900	流入水 放流水
								BOD 180mg/L 6.0mg/L
								SS 105mg/L 5.0mg/L
		地内	活 性 汚 泥 法	BOD 15 mg/L	28,700	254,900	113,000	全体計画処理能力
	吹田市 南吹田五丁目							71,600m ³ /日
								予 定 水 質
								流入水 放流水
								BOD 210mg/L 8.0mg/L
南吹田	地内 及び							SS 155mg/L 5.0mg/L
南 吹 田 下水処理場	大阪市淀川区 十八条							予 定 水 質
	一丁目と		凝 集 剤					流入水 放流水
	大阪市淀川区 東三国三丁目		併 用 型	BOD				BOD 210mg/L 8.0mg/L
		流 多 .	ステップ 流 入 式	15 mg/L	42,900			COD 120mg/L 10.0mg/L
			多段硝化脱 窒法					SS 155mg/L 5.0mg/L
								T-N 40mg/L 8.0mg/L
								T-P 5.0mg/L 0.4mg/L

イ ポンプ施設

名 称	位置	敷地 面積 (ha)	揚水量			摘	要	
川園	吹田市 南高浜町	0.68	晴天時 最大	19.13	雨天時 最大	888.6*		能力内訳
ポンプ場	地内	0.00		19.13		000.0%	雨水	汚水
	╨		(m³/分)		(m³/分)		849.0㎡/分	39.6㎡/分

※雨天時は両ポンプ共に稼働

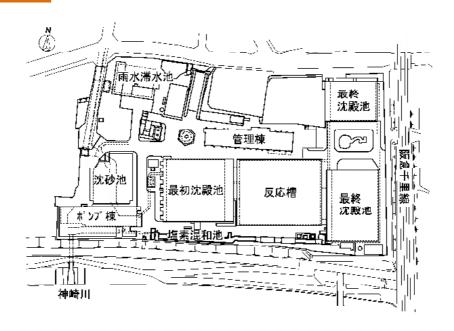
(3) 下水処理場の概要

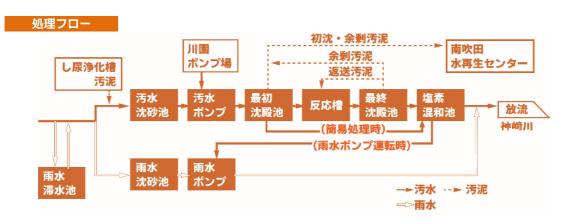
ア 川面水再生センター

① 概 要

住 所	吹田市川岸町22番1号	供用開始	昭和41年7月					
排除方式	合流式	敷地面積	18,600m²(事業計画値)					
処理方式	活性汚泥法	汚泥処理	南吹田水再生センターへ圧送					
	川面処理分区	計画処理面積	240ha					
処理区域	川園処理分区	計画処理人口	31,900人					
	馬廻処理分区							
日最大汚水量	25,300m ³ /日							
時間最大汚水量	0.417m³/秒							
雨天時汚水量	1.290m ³ /秒							
雨天時最大下水量	6.360m ³ /秒							
処理水放流先	神崎川	雨水放流先	神崎川					
運転監視体制	南吹田水再生センター広域監視室から、24時間連続で運転監視。							

平面図



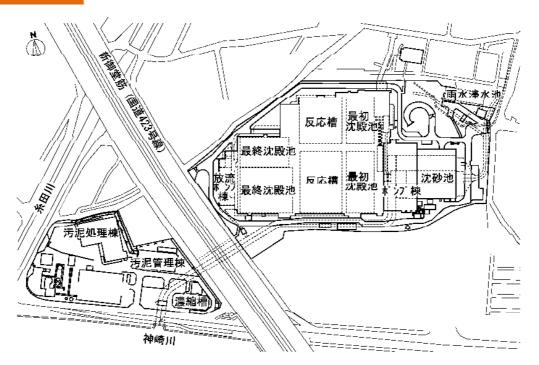


イ 南吹田水再生センター

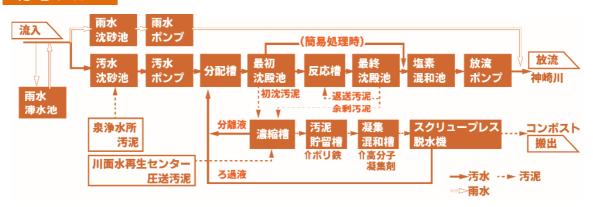
① 概 要

住 所	吹田市南吹田5丁目35番1号	供用開始	昭和46年8月			
排除方式	合流式及び一部分流式	敷地面積	58,400m ² (事業計画値)			
処理方式	活性汚泥法及び凝集剤併用型	汚泥処理	薬注脱水			
处任力以	ステップ流入式多段硝化脱窒法	計画処理面積	986ha			
	泉町処理分区(合流)	計画処理人口	113,000人			
<u>処理区域</u>	豊津処理分区(合流一部分流)	日最大汚水量	71,600m³/日			
处理区域	千里山処理分区(分流)	時間最大汚水量	1.212m³/秒			
	山手処理分区(分流)	雨天時汚水量	2.950m³/秒			
雨天時最大下水量	29.548m³/秒					
処理水放流先	神崎川	雨水放流先	神崎川			
運転監視体制	水処理施設は、南吹田水再生センター広域監視室から、24時間連続で運転監視。					
建拟血忧忡叨	汚泥処理施設は、南吹田水再生センター	一汚泥処理施設中央監視雪	室から、24時間連続で運転監視。			

平面図



処理フロー



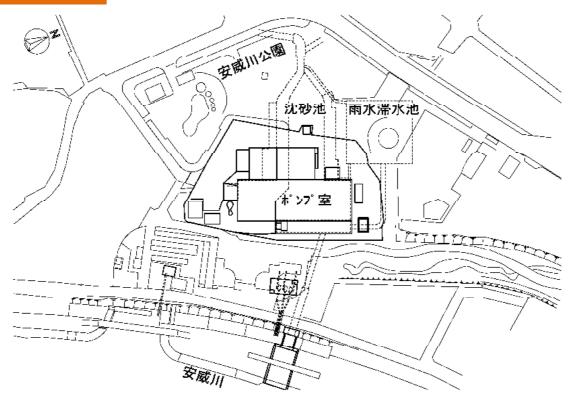
(4) ポンプ場の概要

ア 川園ポンプ場

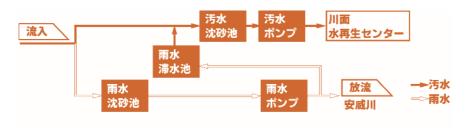
① 概 要

住 所	吹田市南高浜町33番1号	供用開始	昭和43年12月				
排除方式	合流式	敷地面積	6,846m ² (事業計画値)				
処理区域	川園処理分区	汚水処理	川面水再生センターへ圧送。				
处理区域	川国龙柱万区	計画処理面積	153ha				
日最大汚水量	19,210m ³ /日	計画処理人口	20,810人				
時間最大汚水量	0.319m ³ /秒						
雨天時汚水量	0.660m ³ /秒						
雨天時最大下水量	14.810m ³ /秒	雨水放流先	安威川				
運転監視体制	南吹田水再生センター広域監視室から、24時間連続で運転監視。						

平面図



処理フロー





4.下水道施設の維持管理

(1) 下水処理場の維持管理

ア 維持管理実績

① 川面水再生センター 維持管理実績 (水処理)

	年度	(単位)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	流入汚水量	m³	6,656,700	6,945,720	6,370,110	6,684,450	6,664,790
'	高級処理水量	m³	5,525,939	5,675,355	5,198,086	5,462,729	5,461,208
汚	簡易処理水量	m³	125,894	295,888	151,370	235,550	221,615
水	返 送 汚 泥 量	m³	3,083,838	3,309,923	3,169,083	3,132,863	3,175,176
処	余 剰 汚 泥 量	m³	130,274	131,487	153,607	141,209	130,781
理	反 応 槽 風 量	m³	52,676,838	57,736,282	54,718,374	43,754,475	44,906,581
	初 沈 引 抜 汚 泥 量	m³	137,698	154,435	102,092	125,651	156,263
	汚 泥 圧 送 量	m³	267,972	285,922	255,699	266,837	287,028
	12 <u></u>		1 150 0	1.051.0	1.100.0	1 105.0	1 001 0
	降 雨 量	mm	1,452.0	1,651.0	1,132.0	1,485.0	1,331.0
雨	雨 水 排 水 量 ———————————————————————————————————	m ³	216,863	512,614	213,953	353,541	298,397
水		L	2,281.4	4,742.3	2,050.5	3,472.0	2,411.7
排	雨水ポンプ稼動回数	0	27	35	30	28	28
J9F	雨水ポンプ稼働日数	日	25	36	28	28	26
水	簡易処理回数	•	33	40	32	29	32
	簡易処理日数	目	33	41	37	37	35
	*	Land		2 122 522			
	である。	kWh	3,067,904	3,190,530	3,062,595	2,984,216	3,076,722
		m ³	600	749	826	1,030	824
₹ .	ひょう	m ³	25,739	24,895	24,617	24,608	24,904
٠	次亜塩素酸ソーダ使用量	L	70,452	77,744	91,108	85,127	79,544
Ø	P A C 使 用 量	L	25,653	15,339	20,991	27,506	28,401
他	し 渣 搬 出 量	t	2.53	2.35	1.71	2.01	1.63
	沈砂搬出量	t	10.26	19.13	20.95	18.01	24.18
	し 尿 受 入 量	m³	549.76	504.39	472.63	475.13	432.00
	浄 化 槽 汚 泥 受 入 量	m³	1,337.71	1,293.95	1,394.85	1,409.11	1,349.10

② 南吹田水再生センター 維持管理実績 (水処理)

<u> </u>	<u> </u>	分	_	年	度	(単位)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	流	λ	汚	水	量	m³	19,200,160	19,678,130	18,493,640	18,980,180	19,312,700
汚	高	級 処	理	水	量	m³	19,451,397	19,906,500	19,035,642	19,575,576	19,759,536
水	簡	易処	理	水	量	m³	1,246,452	1,617,757	967,233	1,103,540	1,117,620
	返	送	汚	泥	量	m³	7,616,673	8,209,227	7,962,385	8,010,699	8,020,468
処	余	剰	汚	泥	量	m³	274,599	287,628	299,950	294,967	282,822
理	反	応	槽	風	量	m³	79,572,250	80,588,777	81,349,021	82,151,721	74,653,658
	初	沈引	抜	汚 泥	量	m³	261,415	225,699	185,163	184,585	145,902
	降		雨		量	mm	1,568.0	1,722.0	1,199.5	1,560.0	1,382.0
雨	雨	水	排	水	量	m³	2,752,500	2,807,700	1,500,900	2,759,460	2,135,340
水	重	油	使	用	量	L	14,746	14,023	8,692	14,365	10,812
441:	雨	水 ポ ン	プ 稼	動回	数	•	41	33	29	37	28
排	雨	水 ポ ン	プ 稼	動日	数	日	40	32	28	37	27
水	簡	易処	理	0	数	•	50	62	41	34	47
	簡	易処	理	日	数	日	58	60	51	46	59
	電	カ	使	用	量	kWh	6,513,335	6,545,525	6,305,118	6,428,566	6,232,079
	Ł	水	使	用	量	m³	3,518	3,607	3,226	3,373	3,439
	I	業用	水 1	使 用	量	m³	85,091	93,901	103,141	78,166	65,603
	次	亜 塩 素 酸	ソー	ダ・派	越菌	L	192,074	182,191	183,762	186,841	187,795
そ	次]	亜塩素酸ソ-	ーダ・	脱臭沈	沙池	L	4,859	4,720	4,392	4,271	3,941
Ø	次国	亜塩素酸ソ-	ーダ・	脱臭水	処理	L	3,863	4,413	4,170	2,227	2,033
他	苛	性ソーダ	• 脱	臭沈石	沙池	L	3,518	3,201	1,349	1,117	1,345
	苛	性ソーダ	・脱	臭水如	理	L	3,091	3,453	3,420	3,135	2,828
	P	A C	使	用	量	L	6,242	1,613	4,050	10,083	20,232
	L	渣	搬	出	量	t	8.05	10.39	6.34	7.30	6.27
	沈	砂	搬	出	量	t	124.00	121.19	100.56	87.66	68.44

[※] 上水・工水使用量は南吹田水再生センター(水処理+汚泥処理)での全使用量です。

③ 南吹田水再生センター 維持管理実績 (汚泥処理)

	年 度 分	(単位)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
汚	濃縮槽引抜汚泥量	m³	191,917	187,907	200,537	202,759	206,776
泥	濃縮槽引抜汚泥濃度	%	1.7	1.6	1.7	1.6	1.7
La	乾燥 固形物量	kg	2,931,525	2,848,726	2,860,262	2,967,218	3,009,879
処	汚 泥 受 入 量 (川 面)	m³	266,414	283,336	254,756	264,818	285,958
理	汚 泥 受 入 量 (水 道)	m³	23,245	23,670	22,802	21,545	17,554
	脱水機。稼動、日数 	日	365	365	365	366	365
D14	運転時間	h:m	17,860:24	16,281:54	18,224:30	19,403:24	18,948:06
脱	脱水ケーキ量	t	12,046.80	11,942.00	12,133.20	12,353.70	12,425.90
水	ケーキ コンポスト化	t	12,068.40	11,914.65	12,085.45	12,275.49	12,378.68
•••	搬出量 セメント化	t	_	_	_	_	_
	ケーキ含水率	%	73.5	73.3	74.1	73.9	74.4
	電力 使用量	kWh	1,383,000	1,417,400	1,404,500	1,086,700	987,100
	次亜塩素酸ソーダ・脱臭用	kg	24,432	27,912	20,820	0	0
	苛性ソーダ使用量	kg	4,099	6,749	3,672	0	0
₹ 0	ポリ硫酸第二鉄使用量	kg	296,571	295,485	288,396	301,690	306,158
の他	ポリ硫酸第二鉄添加率	%	8.68	9.28	8.69	9.29	9.39
	高分子凝集削使用量	kg	26,259	24,837	24,514	24,157	23,936
	高分子凝集削添加率	%	1.00	0.92	0.88	0.89	0.89
	し 渣 搬 出 量	t	28.82	26.18	59.77	53.08	59.52

[※]令和2年度から、ポリ硫酸第二鉄及び高分子凝集剤については、これまでの入荷量から使用量に変更しています。 ※令和4年度に脱臭装置を生物脱臭方式へ更新したため、令和4年度まで脱臭用として使用していた 脱臭用次亜塩素酸ソーダ及び苛性ソーダは、令和5年度以降、使用量は0となります。

④ 川園ポンプ場 維持管理実績

<u> </u>	<u> </u>	分	_	年	_	度	(単位)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
処 汚 理 水	Л	面	圧	送	水	量	m³	4,192,969	4,216,452	3,855,123	4,098,927	4,236,124
雨	降		F	ī ī		量	mm	1,418.5	1,715.5	1,125.5	1,456.5	1,335.0
水	雨	水	ŧ	非	水	量	m³	1,533,181	1,635,359	774,775	1,224,687	1,035,426
	重	油	1	吏	用	量	L	13,166	15,509	8,256	11,797	9,992
排	雨	水ポ	ン:	プ稼	動回	動数	0	57	55	41	42	38
水	雨:	水ポ	ン:	プ稼	動 E	多数	日	58	54	42	46	35
7	電	カ	ſ	吏	用	量	kWh	525,129	530,803	510,984	529,626	522,842
o -	Ŀ	水	1	吏	用	量	m³	1,854	1,656	1,314	945	801
	L	渣	ŧ	般	出	量	t	1.54	1.32	1.11	1.28	1.13
他	沈	砂	ŧ	般	出	量	t	11.95	22.74	15.12	18.28	15.68



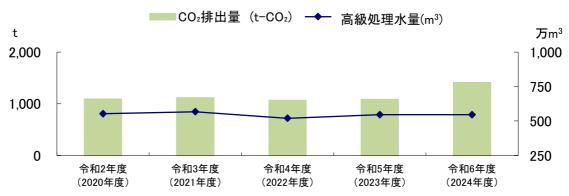
南吹田水再生センター雨水ポンプ

⑤ 川面水再生センター CO2排出量

年度(単位)区分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
電 力 使 用 量 (kWh)	3,067,904	3,190,530	3,062,595	2,984,216	3,076,722
CO ₂ 換 算 量 (t-CO ₂)	1,114.02	1,081.44	1,058.13	1,074.32	1,368.37
重 油 使 用 量 (L)	2,281	4,742	2,051	3,472	14,008
CO ₂ 換 算 量 (t-CO ₂)	6.18	12.85	5.56	9.41	37.96
プロパンガス使 用 量(m³)	21.2	31.0	30.8	35.1	37.2
CO ₂ 換 算 量 (t-CO ₂)	0.14	0.20	0.20	0.23	0.24

※CO₂はエネルギー起源によるもので、重油・電気・ガス使用量からの換算量です。

川面水再生センターCO2排出量



年度(単位)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
CO2排出量 (t-CO2)	1,088	1,115	1,064	1,084	1,407
高級処理水量(㎡)	5,525,939	5,675,355	5,198,086	5,462,729	5,461,208

※電力供給会社によって、排出係数が変わります。

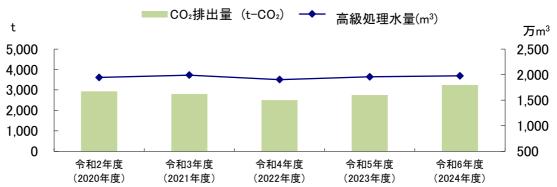
従って、高級処理水量とCO₂排出量との間に相関がみられないこともあります。

⑥ 南吹田水再生センター CO₂排出量

年度(単位)区分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
電 力 使 用 量 (kWh)	7,896,335	7,962,925	7,709,618	7,515,266	7,219,179
CO ₂ 換 算 量 (t-CO ₂)	2,882.16	2,751.19	2,470.93	2,705.50	3,210.73
重 油 使 用 量 (L)	14,746	14,023	8,692	14,365	10,812
CO ₂ 換 算 量 (t-CO ₂)	39.96	38.00	23.56	38.93	29.30
プロパンガス使 用 量(m³)	1,412.6	1,380.8	1,314.6	1,251.0	1,176.3
CO ₂ 換 算 量 (t-CO ₂)	9.25	9.04	8.61	8.19	7.70

※CO₂はエネルギー起源によるもので、重油・電気・ガス使用量からの換算量です。

南吹田水再生センターCO2排出量



年度(単位) 区分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
CO₂排出量 (t-CO₂)	2,931	2,798	2,503	2,753	3,248
高級処理水量(m³)	19,451,397	19,906,500	19,035,642	19,575,576	19,759,536

※電力供給会社によって、排出係数が変わります。

従って、高級処理水量とCO₂排出量との間に相関がみられないこともあります。

イ 水質試験結果

①-1 川面水再生センター 年度別平均値

試料名	年度 項目	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	透視度 (度)	5.0	4.8	5.0	5.2	5.5
	рН	7.85	7.74	7.93	7.85	7.88
流	SS (mg/L)	109	118	110	109	92
加 入 水	COD (mg/L)	86.8	96.7	88.0	93.4	86.6
<i>*</i> *	BOD (mg/L)	120	146	180	158	119
	T-N (mg/L)	60.1	67.1	60.9	58.9	54.7
	T-P (mg/L)	6.38	6.88	6.22	6.73	6.34
	透視度 (度)	85	69	85	86	83
	рН	7.20	7.02	7.12	7.13	7.23
放	SS (mg/L)	3	5	3	3	3
 流 水	COD (mg/L)	12.1	14.6	14.5	12.2	11.2
7,	BOD [*] (mg/L)	2.0	2.5	2.0	1.6	2.0
	T-N (mg/L)	23.1	24.7	22.5	21.1	19.0
	T-P (mg/L)	2.37	2.66	2.76	2.71	2.78

[※] 放流水BODの水質試験は、JIS K0102 21 備考1によります。

①-2 川面処理区 年度別 合流式下水道の雨天時放流水分析結果

試料名	年度 項目	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 ^(2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
雨天時	BOD	27.8(4月)	17.6 (5月)	16.6 (9月)	27.2 (7月)	31.5 (3月)
放流水	(mg/L)	21.1 (2月)	22.4 (12月)	32.5 (11月)	-	_

[※]雨天時放流水BODは、汚濁負荷量の総量を放流水の総量で除した数値で、()内は採水月を示します。

吹田市では、平成16年度に「合流式下水道緊急改善計画」を策定し、平成26年度までに各処理場及びポンプ場に 雨水滞水池の整備を完了している。以降、雨天時放流水質基準は満たしている。

[※] 放流水の水質は、排水基準を遵守していました。

[※]雨天時放流水質基準は、BOD40mg/L以下です。

[※]雨天時放流水質基準は、処理区内の総降雨量が10mm以上30mm以下の降雨に適用し、年1回以上の 測定が必要です。

①-3 南吹田水再生センター 年度別平均値

試料名	年度 項目	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	透視度 (度)	4.3	4.7	4.7	5.1	5.3
	рН	7.74	7.60	7.88	7.79	7.83
流	SS (mg/L)	150	130	136	129	110
 入 水	COD (mg/L)	113	110	104	104	102
Α.	BOD (mg/L)	196	182	205	198	171
	T-N (mg/L)	45.6	48.7	47.3	45.7	42.8
	T-P (mg/L)	4.71	4.92	4.75	4.78	4.33
	透視度 (度)	87	85	84	90	84
	рН	6.90	6.83	6.87	6.83	7.05
放	SS (mg/L)	2	2	2	2	2
 流 水	COD (mg/L)	12.3	12.5	12.8	12.0	11.6
	BOD [*] (mg/L)	2.3	2.4	2.4	1.8	2.3
	T-N (mg/L)	11.8	12.3	11.8	10.8	11.8
	T-P (mg/L)	0.48	0.61	0.77	0.85	0.93

[※] 放流水BODの水質試験は、JIS K0102 21 備考1によります。

①-4 南吹田処理区 年度別 合流式下水道の雨天時放流水分析結果

試料名	年度 項目	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
雨天時	BOD	37.9(11月)	24.2 (5月)	27.8 (8月)	38.2 (11月)	31.8(10月)
放流水	(mg/L)	_	_	_	-	_

[※]雨天時放流水BODは、汚濁負荷量の総量を放流水の総量で除した数値で、()内は採水月を示します。

[※] 放流水の水質は、排水基準を遵守していました。

[※]雨天時放流水質基準は、BOD40mg/L以下です。

[※]雨天時放流水質基準は、処理区内の総降雨量が10mm以上30mm以下の降雨に適用し、年1回以上の 測定が必要です。

②-1 川面水再生センター 令和6年度(2024年度)月平均値

試料名	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	透視度 (度)	4.8	5.5	4.1	6.8	5.8	5.8	5.0	6.3	5.3	6.1	4.8	6.1	5.5
	рН	8.15	7.89	7.84	7.79	7.76	7.82	8.06	8.13	7.69	7.73	7.79	7.89	7.88
	SS (mg/L)	79	93	94	69	45	73	162	77	110	87	122	93	92
流 入	COD (mg/L)	94.8	93.5	97.8	73.4	86.5	83.5	87.5	82.4	86.8	80.3	88.8	83.9	86.6
水	BOD (mg/L)	111	131	151	80.8	107	115	109	98.6	186	103	153	85.5	119
	T-N (mg/L)	52.5	54.5	47.5	41.0	55.1	47.7	57.6	50.9	53.9	50.6	74.5	70.5	54.7
	T-P (mg/L)	5.87	6.59	5.85	4.78	6.70	5.64	5.80	6.65	6.96	6.50	8.29	6.51	6.34
	透視度 (度)	58	68	100	92	100	88	90	92	77	85	82	62	83
	рН	7.51	7.06	7.17	7.19	7.00	7.13	7.59	7.64	7.13	7.02	7.26	7.04	7.23
	SS (mg/L)	4	4	2	3	1	2	2	2	4	4	3	4	3
放流	COD (mg/L)	10.5	12.0	11.0	8.1	8.0	11.8	11.1	11.4	15.0	12.1	12.8	10.8	11.2
水	BOD [*] (mg/L)	1.7	2.3	1.2	1.1	1.5	2.0	1.5	1.9	3.9	4.1	1.7	1.8	2.0
	T-N (mg/L)	16.3	18.8	19.2	13.9	17.1	20.6	22.0	22.2	20.5	17.8	23.3	16.1	19.0
W IL.	T-P (mg/L)	2.58	2.92	3.13	2.52	2.33	3.49	3.60	3.85	3.78	2.29	1.38	1.55	2.78

[※] 放流水BODの水質試験は、JIS K0102 21 備考1によります。

②-2 南吹田水再生センター 令和6年度(2024年度)月平均値

試料名	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	透視度 (度)	6.2	5.3	5.7	7.5	5.8	6.7	4.6	4.8	3.7	4.5	4.4	4.5	5.3
	рН	7.97	7.44	7.91	7.81	7.61	7.83	7.84	8.18	7.69	7.87	7.87	8.00	7.83
	SS (mg/L)	95	83	103	62	51	87	98	121	112	179	196	134	110
流 入 ·	COD (mg/L)	93.7	78.7	98.7	89.2	92.3	88.6	113	98.9	108	119	115	124	102
水	BOD (mg/L)	126	151	199	115	122	142	197	180	234	206	215	172	171
	T-N (mg/L)	40.8	33.1	33.9	31.2	41.7	41.1	44.9	42.8	47.1	57.7	50.3	49.0	42.8
	T-P (mg/L)	4.32	3.76	3.25	3.17	4.38	3.40	4.12	4.53	5.16	5.32	5.34	5.20	4.33
	透視度 (度)	76	80	100	100	100	100	100	96	86	58	40	72	84
	рН	7.18	7.05	7.16	6.69	6.97	6.75	7.21	7.15	7.19	6.95	7.14	7.21	7.05
	SS (mg/L)	3	1	1	<1	<1	2	2	1	2	5	6	3	2
放 流 ·	COD (mg/L)	11.9	12.0	9.3	7.4	8.8	9.6	11.3	12.6	11.7	15.9	16.9	12.4	11.6
水	BOD [*] (mg/L)	3.0	1.8	1.6	1.3	1.5	1.5	1.8	1.3	3.6	4.0	4.5	1.9	2.3
	T-N (mg/L)	10.9	14.9	9.3	6.7	9.7	9.1	11.6	12.7	12.6	15.1	16.9	12.0	11.8
W IL.	T-P (mg/L)	1.00	1.47	0.55	0.62	0.85	0.54	0.96	1.22	0.96	1.15	1.13	0.68	0.93

[※] 放流水BODの水質試験は、JIS K0102 21 備考1によります。

③-1 川面水再生センター 重金属等試験結果(放流水)

年度 項目	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	基準	连値
カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	mg/L
シアン	ND	ND	ND	ND	ND	1	mg/L
有機リン	ND	ND	ND	ND	ND	1	mg/L
鉛	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	mg/L
六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	mg/L
ひ素	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	mg/L
総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	mg/L
アルキル水銀	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出され	ないこと
ポリ塩化ビフェニル	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	mg/L
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	${\rm mg}/{\rm L}$
テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	${\rm mg}/L$
ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	${\sf mg/L}$
四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	${\sf mg/L}$
1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	${\sf mg/L}$
1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	1	${\sf mg/L}$
シスー1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.4	${\sf mg/L}$
1, 1, 1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	3	${\sf mg/L}$
1, 1, 2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	${\sf mg/L}$
1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	mg/L
チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	${\sf mg/L}$
シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	${\sf mg/L}$
チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	${\sf mg/L}$
ベンゼン	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	${\sf mg/L}$
セレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	${\sf mg/L}$
ほう素	0.04	0.03	0.03	ND	0.05	10	${\sf mg/L}$
ふっ素	0.1	0.1	ND	0.1	ND	8	${\rm mg}/L$
1,4-ジオキサン	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	mg/L
フェノール類	ND	ND	ND	ND	ND	5	${\rm mg}/L$
銅	ND	ND	ND	ND	ND	3	${\sf mg/L}$
亜鉛	0.01	ND	ND	ND	ND	2	${\rm mg}/L$
溶解性鉄	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	10	${\sf mg/L}$
溶解性マンガン	ND	ND	ND	ND	ND	10	${\rm mg}/L$
全クロム	ND	ND	ND	ND	ND	2	${\rm mg}/L$

[※] NDは定量下限値未満を示します。

[※] 基準値は、水質汚濁防止法「排水基準を定める省令」及び、大阪府条例「水質汚濁防止法第三条第三項の規定による排水基準

③-2 南吹田水再生センター 重金属等試験結果(放流水)

年度 項目	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	基準	峰値
カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	mg/L
シアン	ND	ND	ND	ND	ND	1	mg/L
有機リン	ND	ND	ND	ND	ND	1	${\sf mg/L}$
鉛	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	mg/L
六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	${\sf mg/L}$
ひ素	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	mg/L
総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	${\sf mg/L}$
アルキル水銀	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出され	ないこと
ポリ塩化ビフェニル	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	${\sf mg/L}$
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	mg/L
テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	${\sf mg/L}$
ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	mg/L
四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	${\sf mg/L}$
1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	mg/L
1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	1	${\sf mg/L}$
シスー1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.4	${\sf mg/L}$
1, 1, 1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	3	${\sf mg/L}$
1, 1, 2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	mg/L
1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	${\sf mg/L}$
チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	mg/L
シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	${\sf mg/L}$
チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	${\sf mg/L}$
ベンゼン	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	${\sf mg/L}$
セレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	${\sf mg/L}$
ほう素	0.05	0.04	0.03	0.03	0.02	10	${\sf mg/L}$
ふっ素	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	8	mg/L
1,4-ジオキサン	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	mg/L
フェノール類	ND	ND	ND	ND	ND	5	mg/L
銅	ND	ND	ND	ND	ND	3	${\sf mg/L}$
亜鉛	0.01	ND	ND	ND	ND	2	${\sf mg/L}$
溶解性鉄	ND	ND	ND	ND	0.1	10	${\sf mg/L}$
溶解性マンガン	ND	ND	ND	ND	ND	10	${\sf mg/L}$
全クロム	ND	ND	ND	ND	ND	2	mg/L

[※] NDは定量下限値未満を示します。

[※] 基準値は、水質汚濁防止法「排水基準を定める省令」及び、大阪府条例「水質汚濁防止法第三条第三項の規定による排水基準

ウ 廃棄物試験結果

① 南吹田水再生センター 重金属等試験結果(脱水ケーキ溶出試験)

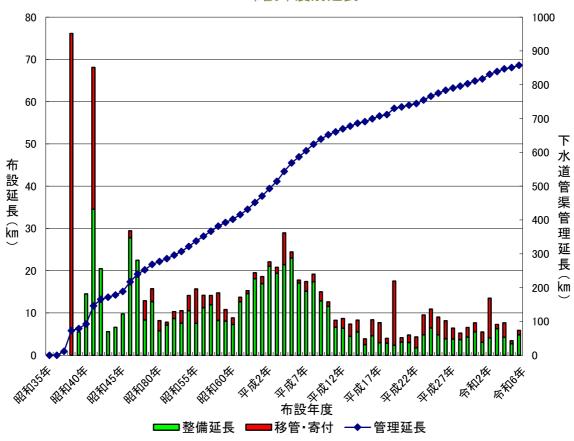
年度 項目	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	基	準値
アルキル水銀	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出され	1ないこと
総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	mg/L
カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	mg/L
弘	ND	ND	ND	ND	ND	0.3	mg/L
有機リン	ND	ND	ND	ND	ND	1	mg/L
六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	1.5	mg/L
ひ素	0.02	0.01	0.03	0.02	0.02	0.3	mg/L
シアン	ND	ND	ND	ND	ND	1	mg/L
ポリ塩化ビフェニル	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	mg/L
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	mg/L
テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	mg/L
ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	mg/L
四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	mg/L
1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	mg/L
1, 1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	1	mg/L
シスー1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.4	mg/L
1, 1, 1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	3	mg/L
1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	mg/L
1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	mg/L
チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	mg/L
シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	mg/L
チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	mg/L
ベンゼン	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	mg/L
セレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.3	mg/L
1,4-ジオキサン	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	mg/L

[※] NDは定量下限値未満を示します。 ※ 基準値は「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」(昭和48年2月17日総理府令第5号)によります。

(2) 管渠管理延長

ア 布設年度別延長





イ 管渠管理延長

管和	重別	_	年度	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
下水	道管理	延長	(全体)	846.086	849.739	854.066	854.905	857.194
汚	水	管	(km)	328.679	329.103	331.019	331.258	332.169
雨	水	管	(km)	174.179	177.332	179.224	179.560	180.087
合	流	管	(km)	343.228	343.304	343.823	344.087	344.938

[※]令和6年度に管更生の計上方法を見直したため、令和5年度版とは差異があります。

(3) 管渠等の改築・修繕及び維持管理

ア 改 築 ※老朽化対策または地震対策において改築した管渠の延長を示します。

区分	,	年 度	単 位	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
管	更	生	(m)	4,147	3,336	3,441	2,597	3,829
布	設	替	(m)	44	267	74	73	0

イ修繕

年度区分	単位	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
人 孔 関 係	(箇所)	181	112	106	130	110
人 孔 蓋 取 替	(箇所)	304	302	324	213	196
本 管 関 係	(箇所)	5	9	6	16	24
汚水桝及び取付管	(箇所)	102	109	98	197	152
雨水桝及び取付管	(箇所)	56	36	46	51	45

ウ 清 掃 ※令和6年度から第2期包括業務委託となり新たな計画に基づき実施。

N K	分	_	年 度	単 位	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
管			渠	(m)	4,977	5,261	1,414	2,573	1,703
雨	7,	k	渠	(m)	3,878	3,062	4,216	6,685	593
	ŧ	4		(箇所)	776	826	715	741	1047
伏	越	人	孔	(箇所)	30	32	29	29	29

エ 点検・調査 ※平成30年度から下水道ストックマネジメント計画に基づき、年度毎に点検、調査を開始しました。

年度区分	単 位	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
管渠点検箇所	(箇所)	13	0	0	0	0
管 渠 調 査 延 長	(m)	498	717	598	552	592
点 検 (ストックマネジメント)	(箇所)	0	8,742	0	0	7,914
調 査 (ストックマネジメント)	(m)	17,396	0	62,089	58,156	0

才 耐 震 化

年度区分	単位	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
重要な幹線等※1	(km)	222	222	224.6	224.6	225.5
耐震化済み※2 (重要な幹線等)	(km)	49.2	49.5	55	57.5	62.4
耐震化率 (重要な幹線等)	(%)	22.2	22.3	24.5	25.6	27.7

^{※1} 重要な幹線等とは、被災時に重要な交通機能への障害を及ぼすおそれのある緊急輸送路等に埋設されている管渠やポンプ場や処理場に直結する幹線管渠等を指します。

^{※2} 耐震診断や改築により耐震性能を有すると判断した管渠の累積延長を示します。



5.水洗化の普及

(1) 水洗便所改造等助成及び融資あっ旋制度

ア 水洗便所改造等助成金制度の推移

年 月	制度内容等
昭和41年 6月	大便器 3,000円、小便器 1,000円、兼用器 4,000円
昭和47年 1月	大便器 4,500円、小便器 1,500円、兼用器 6,000円に改定 し尿浄化槽 6,000円を追加
昭和48年12月	生活保護を受けている者に対して全額助成
平成 3年11月	大便器(兼用器、小便器を含む) 10,000円、し尿浄化槽 10,000円に改定
平成 4年 5月	同和対策事業助成金の制定 10,000円 + 20,000円 = 30,000円 (一般助成金) (同和対策事業助成金)
平成11年 4月	同和対策事業助成金の廃止

イ 水洗便所改造等融資あっ旋制度の推移

年 月	制 度 内容 等
昭和41年 6月	限度額 40,000 円、15か月以内の均等月賦償還・利息年4.5%
昭和42年 4月	限度額 60,000 円、24か月以内の均等月賦償還 に改定
昭和47年 1月	限度額 80,000 円に改定、利子補給制度を新設
昭和49年 4月	限度額 100,000円、利息年6.0%に改定
昭和50年 4月	限度額 150,000円、36か月以内の均等月賦償還に改定
昭和54年 4月	利息年 4.0%に改定
昭和54年10月	し尿浄化槽切替工事に 100,000円を限度として融資あっ旋制度を新設
昭和55年 5月	限度額 〈み取り便所 200,000円・し尿浄化槽 150,000円に改定
昭和58年 4月	利息年 3.5%に改定
昭和59年 5月	限度額 <み取り便所 250,000円・し尿浄化槽 200,000円に改定
昭和60年 4月	利息年 3.1%に改定
昭和62年 5月	利息年 2.5%に改定
平成 元年 5月	限度額 くみ取り便所 300,000円・し尿浄化槽 250,000円に改定
平成 6年 5月	限度額 くみ取り便所 500,000円・し尿浄化槽 300,000円に改定
	(現行)利息年2.5%、36か月以内の均等月賦償還

(2) 水洗便所改造等助成金、融資あっ旋の状況

助成金・融資あっ旋 実績表

			年 度	令	和2年度	令	和3年度	令	和4年度	令	和5年度	令	和6年度
				(20	020年度)	(2	021年度)	(2	022年度)	(2	023年度)	(2	024年度)
X	分			件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
	改	大(更器改造	0	0	1	10,000	0	0	0	0	1	10,000
助	造	浄 化 槽	一般家庭	4	40,000	3	30,000	5	50,000	3	30,000	3	30,000
	I	切 替	10 人 槽	2	60,000	1	30,000	0	0	0	0	0	0
成	事	生	活 保 護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		4]	N 計	6	100,000	5	70,000	5	50,000	3	30,000	4	40,000
金	嗣	資完	済助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		合	Ħ	6	100,000	5	70,000	5	50,000	3	30,000	4	40,000
鬲.	l Ì	資 あ	った	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 水洗化普及状況

普 及 状 況 年 度 別 表

項	年度	単位	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	A 行 政 区 域 人 口	Д	376,944	378,781	381,238	382,336	384,302
	B 実 処 理 区 域 人 口	Д	376,695	378,553	381,019	382,133	384,095
٨	6 行 政 区 域 内 B/A c 実処理人口普及率 x100	%	99.93	99.94	99.94	99.95	99.95
п	D供用開始区域人口	Д	376,579	378,505	380,969	382,084	384,053
	E水 洗 化 人 口	Д	375,016	376,987	379,525	380,660	382,658
	F 水 洗 化 率 E/B x 100	%	99.55	99.59	99.61	99.61	99.63
	G 行 政 区 域 面 積	ha	3,609	3,609	3,609	3,609	3,609
	H 下水道計画区域面積	ha	3,582.03	3,582.03	3,582.03	3,582.03	3,582.03
面	I 実処理区域面積	ha	3,500.26	3,500.34	3,500.76	3,500.80	3,500.80
積	下水道計画区域内 I/H 実処理面積普及率 x100	%	97.72	97.72	97.73	97.73	97.73
	K 供用開始区域面積	ha	3,477.04	3,477.04	3,477.59	3,481.13	3,481.46
	下水道計画区域内 K/H L 供用開始面積普及率 x100	%	97.07	97.07	97.08	97.18	97.19
	M 行 政 区 域 戸 数	戸	177,152	179,397	182,636	184,802	187,467
戸	N 供用開始 N 区域内戸数	戸	179,219	182,461	184,638	184,638	187,305
数	O 水 洗 化 戸 数	戸	178,390	181,663	183,864	183,864	186,563
	件 用 開 始 区 域 内 O/N P 戸 数 水 洗 化 率 x100	%	99.54	99.56	99.58	99.58	99.60



6.河川及び水路

(1) 主な水路一覧

No		水	路名		No		水	路名		No	水路名			No		水路名				
1	マ味	硰	スイ 水	路	10	アブラ	ダニ谷	スイ 水	路	19	が岸	之	本	スイ 水	路	28	熔高	バタ ^ク 畑	ァ スイ 水	路
2	東	ナン :	シン イ 新 井	ジ路	11	り道	朝:	ジ スイ 寺 水	路	20	豊	ッ津	大	ィ 井	ジ路	29	デモ	^{ダイ} ノ 大 神	未が	路
3	シン 新	カワ 川	スイ 水	路	12	が岸	ぶ 部 に	^{ナカ} スイ 中 水	路	21	糸	ダ ガワ 田 川	ジョウリ: 上 況	カス れ	路	30	車	7 .	スイ 水	路
4	ショウ 小	ジ路	スイ 水	路	13	天	ⁱ 过 2	ずな	路	22	莠	が野	ス 기	ί K	路	31	ゾ染	之	ィ スイ 井 水	路
5	郵	永	スイ 水	路	14	が新	デン 田	スイ 水	路	23	ず月	薡	ス 기	ί K	路	32	ガ井	イケ 池	スイ 水	路
6	五	サカ 坂	スイ 水	路	15	ススキ 薄	· ダニ 谷	スイ 水	路	24	が竜	ガ <i>ケ</i>	イケ 池	スイ 水	路	33	ウマ馬	マワ!	ノ スイ 水	路
7	***	;	ィ 井	ジ路	16	が新	ナン 南	スイ 水	路	25	タ田	ナカ 中	ス ブ	ί K	路	34	ィズミ 泉	. チョウ 町	ァ スイ 水	路
8	オオ	み 角	スイ 水	路	17	サイオ	又 又	スイ 水	路	26	黄	ガネ 金	ス 기	γ K	路					
9	アナ	ダ 田	スイ 水	路	18	対ラ宝	7	スイ 水	路	27	ダイ 大	神	* 木	スイ 水	路					

(2) 主なため池一覧

No	ため池名	所在地	ため池管理者	備考
A	シャ カ ガ イケ 釈 迦 ケ 池	岸部北4丁目、五月が丘東	釈迦ヶ池土地改良区	水防ため池(B級)
В	ェ ビ ガ イケ 海 老 ケ 池	山田西2丁目	吹田市土木部公園みどり室	
С	スナゴ ダニシン イケ砂子谷 新池	春日4丁目	春日町水利組合	
D	アチラダニ シン イケ 後 谷 新 池	千里山竹園1丁目	大字下新田部落有財産管理委員会	
E	ジ ゲ 池	千里山竹園1丁目	大字下新田部落有財産管理委員会	
F	シン イケ 新 池	岸部中5丁目 岸部東農業協同組合		
G	カマ イケ 鎌 池	江坂町4丁目	江坂蔵人水利組合	
н	マ 今 池	原町2丁目	原部落有財産管理委員会	水防ため池(C級)
I	^{タツ} イケ 龍 が 池	原町3丁目	原部落有財産管理委員会	
J	st ダニ イケ 宮 が 谷 池	原町2丁目	原部落有財産管理委員会	
K	^{オウ} ジ イケ 王 子 池	山田西4丁目	山田上自治会	水防ため池(C級)

^{*}ため池水防計画決定基準···A級:特に重要な水防ため池 B級:重要な水防ため池 C級:要水防ため池

(3)主な樋門一覧

	樋又は	堰名		所在地	管理者
ワタリ 渡			ビ 樋	芳野町18番(馬廻水路)	吹田市
せん	* 木	卢	セキ 堰	芳野町15番(馬廻水路)	吹田土地改良区
ェ/ 榎	*	ウラ 裏	ビ 樋	江の木町40番(馬廻水路)	吹田市
シン新	デン 田		ビ 樋	南吹田5丁目22番(大井路)	吹田市
小			ビ 樋	南吹田5丁目36番(大井路)	吹田土地改良区
ナカ 中	の島	T FU	ビ 樋	中の島町5番(東南新井路)	神安土地改良区
かる春	ガ 日		ビ 樋	南高浜町36番(味舌水路)	神安土地改良区
を	ガ 日	^{ウラ} 浦	ビ 樋	南高浜町36番(味舌水路)	吹田市
小 糸	ダ ガワ 田 川	出 芝	延樋	広芝町1番(新川水路)	吹田土地改良区
広	シバ 芝	.	ビ 樋	広芝町15番(垂水水路)	吹田市
五	の木	コウ 玉 公 園	ビ 樋	江の木町2番(江坂水路)	吹田市

(4) 雨水ポンプ場(吹田市管理分)

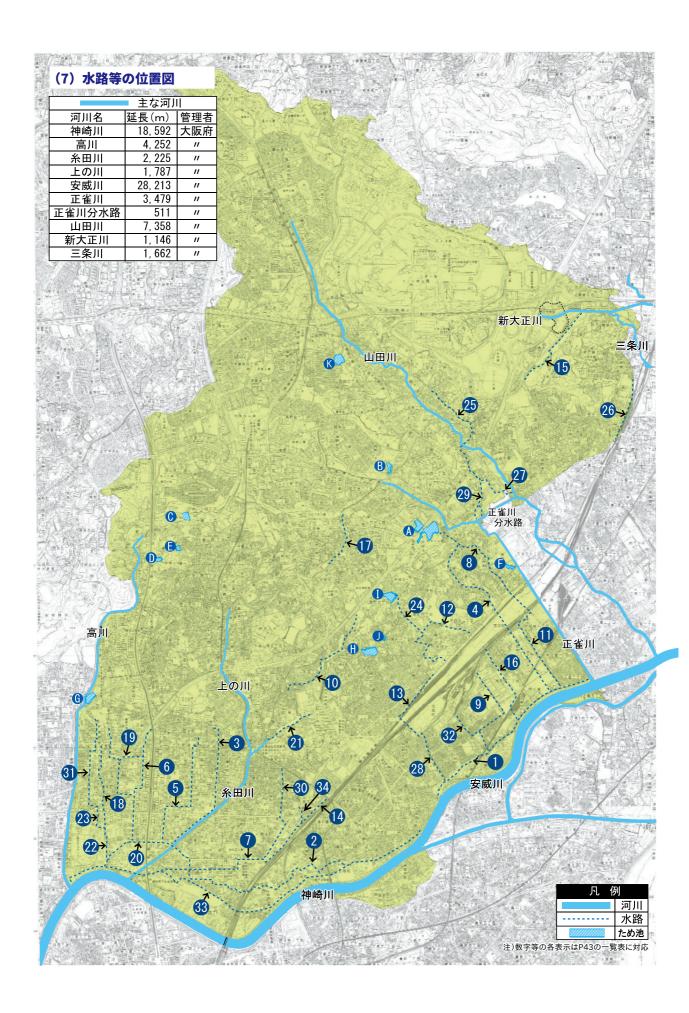
名 称	主要、仕様	管理 箇所
春日浦ポンプ場	30kw×4台	南高浜町36番(味舌水路)

(5) 水路改良工事

項目		年度	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (202 4 年度)
水	路	名	_	油谷水路 山田東1丁目 ほか水路	泉町5丁目水路	_	油谷水路
延		長 (m)	_	77.35	10.2	_	79.9

(6) 水路等の維持管理

	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
項目		(2020年度)	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)
水路しゅんせつ	(m³)	1	0	5	18	6
水路敷洗い等清掃	(m)	9,763	9,586	9,973	10,647	10,284



HORIBA 7。下水道事業等の財政 「異常なし!」毎日の点検が大事です

7.下水道事業等の財政

(1) 下水道使用料

下水道使用料は、下水処理場の運転、下水道管の補修・清掃や施設建設の際に発行した地方債の元利償還金など、下水道の運営に必要な経費の主要な財源として徴収しています。

なお、本市では、下水道使用料の徴収を水道部に委託しています。

ア料金体系の推移

(税抜)

										(税抜)
区分			改定年月日	S41.4.1	S 51.4.1	S 55.3.1	S 59.4.1	S 62.4.1	H8.3.1	H16.3.1
	基本	料金1か月	0∼ 10m³		150円	220円	335円	_	526円	683円
-			11~ 20m³	1m³(⊂	20円	25円	38円	_	60円	78円
般			21~ 30m³	つき 8円	oc.III	30円	47円	_	74円	96円
	•	m³につき	31~ 50m³		25円	35円	57円	-	89円	115円
汚		mにソさ	51~ 300m³		30円	45円	71円	_	112円	145円
水			301~1000m³		35円	55円	85円	_	134円	174円
			1001m³∼		40円	71円	110円	_	173円	224円
場 公 汚 衆 水 浴	1m³につき		5円	8円	10円	13円	_	20円	25円	
前 処 理	1	m³につき		-	-	_	_	40円	63円	81円
	酸生	200∼ 299mg/L	1 m³につき		2円	_	4円	_	7円	_
水	素 物要 化		基本料金	_	4円	_	6円	_	11円	_
質使	求 学 300mg/L~ 量 的		100 mg/L 増すごとに 加える額		2円	_	5円	_	8円	_
	浮	250∼ 349mg/L	1 m³につき		3円	_	11円	-	26円	_
用	遊 物		基本料金	_	6円	_	17円	_	40円	_
料	質量	350mg/L~	100 mg/L 増すごとに 加える額		3円	_	12円	_	29円	_
	平	均改定	率	_	-	48.8%	52.6%	_	56.9%	29.0%

[※] 平成13年8月検針分から上記単価に消費税相当額を加算しました。

イ 有収水量及び調定額の年度別状況

(単位: m³)

	年度	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	(単位: m <i>)</i> 令和6年度 (2024年度)
有	収水量	43,365,080	43,130,432	42,618,713	42,593,142	42,814,035
	川面処理区	4,387,467	4,381,180	4,271,402	4,344,338	4,453,369
	南吹田処理区	15,076,404	14,943,215	14,694,145	14,699,857	14,856,836
	十八条処理区	452,375	437,302	446,004	445,111	444,175
	庄内処理区	1,642,178	1,637,476	1,593,630	1,583,884	1,575,929
	中央処理区	21,806,656	21,731,259	21,613,532	21,519,952	21,483,726
	前年度比較	228,712	▲ 234,648	▲ 511,719	▲ 25,571	220,893
	前年増減率	0.53%	▲ 0.54%	▲ 1.19%	▲ 0.06%	0.52%
	調定額	4,990,400,937円	4,957,032,761円	4,914,010,332円	4,951,810,294円	4,995,200,997円

(2) 受益者負担金

下水道が整備されると、生活環境は大幅に改善され、衛生的で快適なものとなります。本市では、下水道の整備によって利益を受ける方に下水道建設事業費の一部を負担していただくため、受益者負担金を徴収しています。

受益者とは、公共下水道を整備する区域内の土地所有者です。ただし、その土地が地上権、質権又は使用貸借若しくは賃貸借による権利の目的となっている土地については、それぞれ地上権者、質権者、使用貸借人又は賃借人が受益者となります。(一時的使用のため設定された場合は除きます。)

ア 負担区の状況

対	象区	域	単 位 負 担 金 額 (円)	負 担 区 面 積 (ha)	設定年度	処 理 区 名
Щ		≢	161	248	昭和49年度	南吹田処理区
豊		津	172	258	昭和52年度	南吹田処理区
Ŧ	里	Щ	243	228	昭和61年度	南吹田処理区
春		B	79	106	昭和60年度	庄内処理区
中		央	60	1,318	昭和54年度	中央処理区
佐(旧	井	寺 区)	114	89	昭和63年度	中央処理区

イ 年度別収入状況

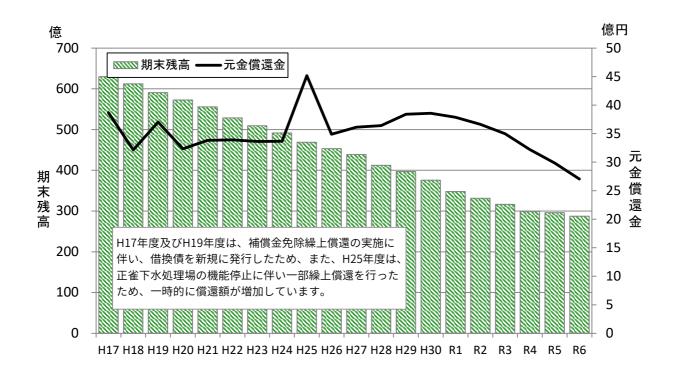
(単位:円)

年 度	区分	調定額	収入額	不納欠損額	未収額	収入率(%)
	現年度	1,055,791	1,055,791	0	0	100.0
令和2年度 (2020年度)	過年度	0	0	0	0	-
	合 計	1,055,791	1,055,791	0	0	100.0
	現年度	1,739,532	1,739,532	0	0	100.0
令和3年度 (2021年度)	過年度	0	0	0	0	-
	合 計	1,739,532	1,739,532	0	0	100.0
	現年度	739,785	739,785	0	0	100.0
令和4年度 (2022年度)	過年度	0	0	0	0	-
	合 計	739,785	739,785	0	0	100.0
	現年度	64,713	64,713	0	0	100.0
令和5年度 (2023年度)	過年度	0	0	0	0	-
	合 計	64,713	64,713	0	0	100.0
	現年度	467,900	467,900	0	0	100.0
令和6年度 (2024年度)	過年度	0	0	0	0	-
	合 計	467,900	467,900	0	0	100.0

(3) 企業債残高の推移

(単位:円)

年度	期首残高	企業債発行額	元金償還金	期末残高	
一十八叉	제미/시미	正来识无门识	76並 長歴並	Marie Society	
令和2年度 (2020年度)	34,790,169,362	2,023,300,000	3,663,836,020	33,149,633,342	
令和3年度 (2021年度)	33,149,633,342	1,978,500,000	3,498,742,009	31,629,391,333	
令和4年度 (2022年度)	31,629,391,333	1,505,400,000	3,220,388,369	29,914,402,964	
令和5年度 (2023年度)	29,914,402,964	2,664,500,000	2,983,483,404	29,595,419,560	
令和6年度 (2024年度)	29,595,419,560	1,841,700,000	2,703,042,374	28,734,077,186	



(4) 収益的収支

年 度		令和 2 年度 (2 0 2 0 年度)			3 年度 2 1 年度)			
科	目			金額(円)	構成比 (%)	金額(円)	構成比 (%)	対前年度 比率(%)
下	水	道事業収	益	9,274,540,590	100.0	9,260,583,425	100.0	100
	営	業収	益	7,168,496,979	77.3	7,230,570,908	78.1	101
		下 水 道 使 用	料	4,536,728,129	48.9	4,506,393,424	48.7	99
		他 会 計 負 担	金	2,623,256,618	28.3	2,715,813,280	29.3	104
		その他営業収	益	8,512,232	0.1	8,364,204	0.1	98
	営	業外収	益	1,823,003,608	19.7	1,811,589,607	19.6	99
		受取利息及び配当	金	1,112,909	0.0	927,424	0.0	83
		他 会 計 負 担	金	49,107,272	0.5	47,562,927	0.5	97
		国庫 補助	金	20,800,000	0.2	65,466,000	0.7	315
		長期前受金戻	入	1,613,118,470	17.4	1,599,258,228	17.3	99
		雑 収	益	138,864,957	1.5	98,375,028	1.1	71
	特	別利	益	283,040,003	3.1	218,422,910	2.4	77
下	水	道事業費	用	8,411,757,785	100.0	8,096,220,472	100.0	96
	営	業費	用	7,148,579,813	85.0	7,430,820,715	91.8	104
		管渠	費	359,847,421	4.3	468,016,490	5.8	130
		ポーン プー場	費	94,793,387	1.1	100,291,612	1.2	106
		処 理 場	費	1,166,606,111	13.9	1,325,454,296	16.4	114
		普 及 指 導	費	28,637,858	0.3	30,623,024	0.4	107
		業務	費	231,449,454	2.8	247,552,922	3.1	107
		総 係	費	420,511,839	5.0	397,997,676	4.9	95
		流 域 下 水 管理運営負担	道 金	894,630,928	10.6	899,542,401	11.1	101
		減価償却	費	3,927,832,350	46.7	3,931,460,202	48.6	100
		資産減耗	費	24,270,465	0.3	29,882,092	0.4	123
	営	業外費	用	716,940,639	8.5	643,942,308	8.0	90
		支 払 利 息 及 企 業 債 取 扱 諸	び 費	629,272,927	7.5	534,554,562	6.6	85
		雑 支	出	87,667,712	1.0	109,387,746	1.4	125
	特	別損	失	546,237,333	6.5	21,457,449	0.3	4
単	年	度 純 利	益	862,782,805		1,164,362,953		
そ 利	の 益	他 未 処 剰 余 金 変 動	分 額	162,908,039		1,042,508,377		
利	益	剰 余 金 処 分	額	1,025,690,844		2,206,871,330		
繰	越	利 益 剰 余	金	0		0		

(注)構成比は小数第2位を四捨五入していますので、合計の数字と内訳の合計とは一致しないことがあります。

[※]利益剰余金の処分は議決案件となるため、議決前における利益剰余金処分額は(案)としての記載となります。

(税抜)

(税抜)									
	6 年度 (4年度)			5 年度 3 年度)			4 年度 (2 年度)		
対前年度 比率(%)	構成比 (%)	金額(円)	対前年度 比率(%)	構成比 (%)	金額(円)	対前年度 比率(%)	構成比 (%)	金額(円)	
105	100.0	9,558,164,599	100	100.0	9,101,477,161	98	100.0	9,100,995,624	
102	76.9	7,346,210,088	101	79.1	7,202,870,862	99	78.5	7,145,876,406	
101	47.5	4,541,091,822	101	49.5	4,501,645,727	99	49.1	4,467,282,127	
104	29.3	2,796,780,322	101	29.6	2,692,576,374	98	29.3	2,669,826,530	
96	0.1	8,337,944	99	0.1	8,648,761	105	0.1	8,767,749	
108	18.7	1,788,065,231	99	18.2	1,658,979,766	92	18.4	1,673,519,547	
67	0.0	370,969	75	0.0	556,454	80	0.0	741,939	
96	0.5	45,859,539	110	0.5	47,738,867	91	0.5	43,389,001	
162	1.4	132,200,000	120	0.9	81,400,000	104	0.7	68,100,000	
99	15.2	1,452,417,840	98	16.2	1,471,481,358	93	16.4	1,494,688,957	
3 272	1.6	157,216,883	87	0.6	57,803,087	68	0.7	66,599,650	
177	4.4	423,889,280	85	2.6	239,626,533	129	3.1	281,599,671	
107	100.0	8,788,778,499	103	100.0	8,250,363,404	99	100.0	8,043,245,010	
103	89.3	7,852,430,737	104	92.5	7,630,672,889	99	91.2	7,335,030,413	
112	5.7	500,635,966	94	5.4	447,271,965	101	5.9	473,334,411	
91	1.1	96,725,982	86	1.3	106,794,906	124	1.5	124,135,886	
110	18.0	1,579,449,471	105	17.5	1,440,800,895	103	17.0	1,371,066,070	
105	0.4	34,442,976	103	0.4	32,655,857	104	0.4	31,769,635	
109	3.1	269,462,826	103	3.0	247,272,979	97	3.0	240,168,688	
117	5.6	491,525,125	111	5.1	418,612,836	95	4.7	378,786,964	
98	12.4	1,086,506,486	124	13.4	1,103,601,063	99	11.1	891,275,627	
102	43.2	3,792,952,854	98	44.9	3,706,578,387	96	46.9	3,776,031,549	
) 1	0.0	729,051	262	1.5	127,084,001	162	0.6	48,461,583	
102	6.1	531,985,190	92	6.3	522,754,151	88	7.0	567,005,512	
94	4.3	381,996,499	88	4.9	405,427,240	86	5.7	458,999,202	
128	1.7	149,988,691	109	1.4	117,326,911	99	1.3	108,006,310	
417	4.6	404,362,572	69	1.2	96,936,364	658	1.8	141,209,085	
		769,386,100			851,113,757			1,057,750,614	
		1,080,988,323			1,164,362,953			898,965,163	
		× 1,850,374,423			2,015,476,710			1,956,715,777	
		0			0			0	

(5) 資本的収支

	年 度	令和 2 年度 (2020年度)			3年度 21年度)	
科	I	金額(円)	構成比 (%)	金額(円)	構成比 (%)	対前年度 比率(%)
資	本 的 収 入	2,554,441,559	100.0	3,188,998,466	100.0	125
	企 業 債	2,023,300,000	79.2	1,978,500,000	62.0	98
	他 会 計 負 担 金	92,877,243	3.6	72,893,515	2.3	78
	国 庫 補 助 金	372,950,000	14.6	850,813,000	26.7	228
	負 担 金 等	62,195,522	2.4	283,673,157	8.9	456
	固定資産売却代金	3,118,794	0.1	3,118,794	0.1	100
資	本 的 支 出	5,478,469,567	100.0	6,761,185,755	100.0	123
	建 設 改 良 費	1,813,093,547	33.1	3,194,150,176	47.2	176
	管 渠 建 設 改 良 費	1,198,417,140	21.9	2,307,230,999	34.1	193
	ポンプ場建設 改 良 費	357,796,880	6.5	185,878,000	2.7	52
	処理場建設改良費	135,297,189	2.5	579,179,923	8.6	428
	流域下水道建設費 負 担 金	121,582,338	2.2	121,861,254	1.8	100
	企業債償還金	3,663,836,020	66.9	3,498,742,009	51.7	95
	固定資産購入費	1,540,000	0.0	68,293,570	1.0	4435
差	引 過 不 足 (△)	△ 2,924,028,008		△ 3,572,187,289		

(注)構成比は小数第2位を四捨五入していますので、合計の数字と内訳の合計とは一致しないことがあります。

(税込)

								(税込)
_	和4年度 022年度)		令和 5 年度 (2 0 2 3 年度)			令和6年度 (2024年度)		
金額(円)	構成比 (%)	対前年度 比率(%)	金 額 (円)	構成比 (%)	対前年度 比率(%)	金額(円)	構成比 (%)	対前年度 比率(%)
2,607,489,68	3 100.0	82	4,104,271,963	100.0	157	2,535,745,870	100.0	62
1,505,400,00	0 57.7	76	2,664,500,000	64.9	177	1,841,700,000	72.6	69
43,796,16	0 1.7	60	20,699,132	0.5	47	11,481,176	0.5	55
783,988,00	0 30.1	92	1,383,739,000	33.7	177	678,978,000	26.8	49
271,186,72	9 10.4	96	32,215,037	0.8	12	467,900	0.0	1
3,118,79	4 0.1	100	3,118,794	0.1	100	3,118,794	0.1	100
5,954,006,73	1 100.0	88	7,208,060,676	100.0	121	5,465,931,362	100.0	76
2,727,058,07	2 45.8	85	4,197,215,564	58.2	154	2,693,037,888	49.3	64
2,177,456,93	2 36.6	94	3,512,908,140	48.7	161	1,916,839,519	35.1	55
77,375,00	0 1.3	42	141,850,245	2.0	183	0	0.0	皆減
392,807,20	9 6.6	68	457,520,208	6.3	116	698,979,084	12.8	153
79,418,93	1.3	65	84,936,971	1.2	107	77,219,285	1.4	91
3,220,388,36	9 54.1	92	2,983,483,404	41.4	93	2,703,042,374	49.5	91
6,560,29	0 0.1	10	27,361,708	0.4	417	69,851,100	1.3	255
△ 3,346,517,0	48	·	△ 3,103,788,713		·	△ 2,930,185,492	·	

(6) 貸借対照表

		年	度	令和2年度(2020 (令和3年3月31日現		令和 3 年度 (令和4年3)	〔(2021年度 月31日現在))
区	分		_	金額(円)	構成比 (%)	金額(円)	構成比 (%)	対前年度 比率(%)
資	産	合	計	99,574,555,146	100.0	99,121,789,246	100.0	100
	固定	資 産 合	計	94,519,093,303	94.9	93,550,510,954	94.4	99
	有	形 固 定 資	産	89,647,806,877	90.0	88,940,287,322	89.7	99
		±	地	5,258,597,041	5.3	5,327,807,582	5.4	101
		建	物	1,677,475,737	1.7	1,653,211,041	1.7	99
		構築	物	69,882,421,412	70.2	67,541,517,824	68.1	97
		機 械 及 び 装	置	8,082,548,080	8.1	7,789,635,179	7.9	96
		車 両 運 搬	具	101,575	0.0	55,825	0.0	55
		工具器具及び備	品	4,800,958	0.0	7,445,163	0.0	155
		建設仮勘	定	4,741,862,074	4.8	6,620,614,708	6.7	140
	無	形 固 定 資	産	3,943,861,341	4.0	3,868,283,564	3.9	98
		施設利用	権	3,934,534,152	4.0	3,866,717,510	3.9	98
		ソフトウェ	ア	9,327,189	0.0	1,566,054	0.0	17
		ソフトウェア仮甚	协定	-	-	-	-	-
	投資	資 そ の 他 の 資	産	927,425,085	0.9	741,940,068	0.7	80
		土地年賦未収	金	927,425,085	0.9	741,940,068	0.7	80
	流動	資 産 合	計	5,055,461,843	5.1	5,571,278,292	5.6	110
	現	金 • 預	金	3,970,823,258	4.0	4,275,962,971	4.3	108
	未	収	金	1,084,638,585	1.1	1,295,315,321	1.3	119
	前	払	金	_	_	_	_	
負		<u> </u>	計	99,574,555,146	100.0	99,121,789,246	100.0	100
負	債	<u></u>	計	71,102,041,412	71.4	69,440,465,875	70.1	98
	固	<u>定</u> 負	債	30,739,567,134	30.9	29,330,884,274	29.6	95
	企	業 	債	29,650,891,333	29.8	28,409,002,964	28.7	96
	引	当	金	176,844,686	0.2	192,416,418	0.2	109
	40	退職給付引当		176,844,686	0.2	192,416,418	0.2	109
		延年賦売却	益	911,831,115	0.9	729,464,892	0.7	80
	流	動 負 ————	債	5,084,282,916	5.1	5,173,480,860	5.2	102
	企	業 	債	3,498,742,009	3.5	3,220,388,369	3.2	92
	未	払	金 	1,541,386,630	1.5	1,919,300,879	1.9	125
	預	<u> </u>	金 	7,759,146	0.0	7,175,677	0.0	92
	引	当	金	36,395,131	0.0	26,615,935	0.0	73
300	繰	延収	益	35,278,191,362	35.4	34,936,100,741	35.2	99
資	本		計	28,472,513,734	28.6	29,681,323,371	29.9	104
	資	本 	金	23,109,099,505	23.2	23,272,007,544	23.5	101
	資	<u></u> 本	金	23,109,099,505	23.2	23,272,007,544	23.5	101
	剰余		計	5,363,414,229	5.4	6,409,315,827	6.5	120
	資	本剰余	金	3,012,897,569	3.0	3,057,344,253	3.1	101
	利	益 剰 余	金	2,350,516,660	2.4	3,351,971,574	3.4	143

(注)構成比は小数第2位を四捨五入していますので、合計の数字と内訳の合計とは一致しないことがあります。

	1年度 (2 05年3月31)		度 (2023年度 3月31日現在)	E)		芰 (2024年度 3月31日現在)	E)
金額(円	構	成比 (%)	対前年度 比率(%)	金額(円)	構成比 (%)	対前年度 比率(%)	金額(円)	構成比 (%)	対前年度 比率(%)
98,947,269	,546	100.0	100	99,592,317,306	100.0	101	98,484,144,313	100.0	99
92,982,620	,232	94.0	99	92,943,972,284	93.3	100	91,788,615,858	93.2	99
88,664,886	,405	89.6	100	88,890,961,901	89.3	100	87,971,661,320	89.3	99
5,327,807	,582	5.4	100	5,327,807,582	2 5.3	100	5,327,807,582	5.4	100
1,578,405	,966	1.6	95	1,558,535,399	1.6	99	1,637,308,328	1.7	105
67,181,856	,665	67.9	99	72,519,114,659	72.8	108	71,099,863,440	72.2	98
7,411,805	,227	7.5	95	7,218,751,648	3 7.2	97	6,544,372,552	6.6	91
48	,550	0.0	87	48,550	0.0	100	48,550	0.0	100
12,204	,797	0.0	164	13,378,160	0.0	110	17,585,362	0.0	131
7,152,757	,618	7.2	108	2,253,325,903	3 2.3	32	3,344,675,506	3.4	148
3,761,278	,776	3.8	97	3,682,040,349	3.7	98	3,631,469,521	3.7	99
3,760,396	,016	3.8	97	3,660,128,149	3.7	97	3,553,192,021	3.6	97
882	,760	0.0	56	258,200	0.0	29	78,277,500	0.1	30,317
	-	-	-	21,654,000	0.0	皆増			皆減
556,455	,051	0.6	75	370,970,034	0.4	67	185,485,017	0.2	50
556,455	,051	0.6	75	370,970,034	0.4	67	185,485,017	0.2	50
5,964,649	,314	6.0	107	6,648,345,022	2 6.7	111	6,695,528,455	6.8	101
4,789,177	,114	4.8	112	5,614,998,840	5.6	117	5,596,212,143	5.7	100
1,175,472	,200	1.2	91	1,033,346,182	2 1.0	88	985,884,312	1.0	95
	_		_			_	113,432,000	0.1	皆増
98,947,269		100.0	100	99,592,317,306		101	98,484,144,313		99
68,207,807	,699	68.9	98	68,000,615,657		100	66,121,907,865		97
27,718,327		28.0	95	27,561,276,352		99	26,748,629,044		97
26,930,919	,	27.2	95	26,892,377,186		100	26,277,258,577		98
240,309	•	0.2	125	304,166,720		127	289,004,244		95
240,309	-	0.2	125	304,166,720		127	289,004,244		95
547,098		0.6	75	364,732,446		67	182,366,223		50
5,052,726		5.1	98	5,052,513,724		100	4,512,515,579		89
2,983,483		3.0	93	2,703,042,374		91	2,456,818,609		91
2,031,788		2.1	106	2,309,470,137		114	2,013,334,987		87
5,156		0.0	72	7,061,301		137	7,118,286		101
32,298		0.0	121	32,939,912		102	35,243,697		107
35,436,753		35.8	101	35,386,825,581		100	34,860,763,242		99
30,739,461		31.1	104	31,591,701,649		103	32,362,236,448		102
24,319,190		24.6	104	25,218,156,134		104	26,382,519,087		105
24,319,190		24.6	104	25,218,156,134		104	26,382,519,087		105
6,420,270		6.5	100	6,373,545,515		99	5,979,717,361	6.1	94
3,053,057		3.1	100	3,054,183,110		100	3,055,331,809		100
3,367,213	,811	3.4	100	3,319,362,405	3.3	99	2,924,385,552	3.0	88

(7) 財務経営指標

項目	算式		指標の解説
1 経 常 収 支 比 率	経 常 収 益 経 常 費 用	× 100	料金収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管 理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表 す指標。
2 流 動 比 率	流 動 資 産 流 動 負 債	× 100	短期的な債務に対する支払能力を表す指標。
企 業 債 残 高 対 事 業 規 模 比 率	企業債現在高 - 一般会計負担額 営業収益-受託工事収益-雨水処理負担金	× 100	料金収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残 高の規模を表す指標。
4 使 用 料 単 価	下 水 道 使 用 料 年 間 有 収 水 量		有収水量1㎡あたりの使用料収入。下水道サービスの 観点からは低い方が望ましいが、事業環境に大きな差 があるため、この指標の水準だけでは、経営の優劣を 判断することは難しい。
5 汚 水 処 理 原 価	汚 水 処 理 費 年 間 有 収 水 量		有収水量1㎡あたりの汚水処理に要した費用。下水道サービスの観点からは低い方が望ましいが、放流先や地形、先行投資などの影響を受けるため、この指標の水準だけでは、経営の優劣を判断することは難しい。
6 経 費 回 収 率	下 水 道 使 用 料 汚 水 処 理 費	× 100	使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標。
7 施 設 利 用 率	晴天時一日平均処理水量晴 天 時 現 在 処 理 能 力	× 100	施設・設備が一日に対応可能な処理能力に対する、一日平均処理水量の割合であり、施設の利用状況や適性 規模を判断する指標。
8 有 収 率	年 間 有 収 水 量 年 間 汚 水 処 理 水 量	× 100	有収水量の汚水処理水量に対する比率。
9 普 及 率	現 在 処 理 区 域 内 人 口 行 政 区 域 内 人 口	× 100	行政区域内人口のうち、処理開始が公示された処理区 域内人口の割合を表した指標。
10 水 洗 化 率	現在水洗便所設置済人口現 在 処 理 区 域 内 人口	× 100	現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置している人口の割合を表した指標。
有形固定資産 11減価償却率 (貸借対照表から算出) 有形固定資産 12減価償却率 (原始取得価額から算出)	有形固定資産減価償却累計額 有形固定資産のうち償却 対象資産の帳簿価額	× 100	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程 度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽化度合を示 している。
13 管 渠 老 朽 化 率	法定耐用年数を経過した管渠延長 下 水 道 布 設 延 長	× 100	法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表した指標 で、管渠の老朽化度合を示している。
14 管 渠 改 善率	改善(更新・改良・維持)管渠延長 下 水 道 布 設 延 長	× 100	当該年度に改善した管渠延長の割合を表した指標。管 渠老朽化率が低い場合、一般的に本指標も低くなる。

- (注) 1.指標の優位性/ 「↑」は数値が高い方が望ましい場合、「 \downarrow 」は数値が低い方が望ましい場合を表している。
 - 2. 算式については総務省基準により算出している。

		令 和 2年度	令 和 3年度	令 和 4年度	令 和 5年度	令 和 6年度	令和5年 公共下水道	
指標の 優位性	単位	-1.2	- 1 100	吹田市	- 1.2	- 1.2	類似団体 (区分Aa) 平均	全国平均
1	%	114.32	111.98	111.61	108.69	108.94	106.58	105.91
1	%	99.43	107.69	118.05	131.58	148.38	108.70	78.43
ļ	%	342.35	328.18	312.08	304.99	287.12	460.03	630.82
ļ	円/m³	104.62	104.48	104.82	105.69	106.07	115.69	136.57
ļ	円/㎡	83.90	87.71	88.54	94.29	97.44	114.16	138.75
1	%	124.69	119.12	118.39	112.09	108.85	101.33	97.81
1	%	56.83	56.29	55.49	56.38	57.46	62.65	58.94
1	%	77.76	76.72	79.39	78.22	78.50	82.33	80.78
1	%	99.90	99.93	99.93	99.93	99.94	95.02	80.75
1	%	99.58	99.60	99.62	99.63	99.64	97.54	95.91
1	%	16.41	20.11	23.14	24.52	27.47	29.31	41.09
ļ	%	53.91	55.43	56.35	55.45	56.64	_	_
ļ	%	21.89	24.58	26.59	27.84	29.39	13.81	8.68
1	%	0.47	0.38	0.41	0.26	0.41	0.16	0.22

^{3.} 類似団体(区分 A a)とは処理区域内人口区分10万人以上(政令市等を除く)で処理区域内人口密度区分100人/ha以上の33事業体。(川口市、草加市、越谷市、戸田市、朝霞市、新座市、富士見市、ふじみ野市、市川市、船橋市、松戸市、習志野市、流山市、浦安市、武蔵野市、三鷹市、調布市、小金井市、国分寺市、西東京市、茅ヶ崎市、大和市、座間市、豊中市、吹田市、高槻市、守口市、枚方市、茨木市、寝屋川市、松原市、門真市、尼崎市)

総務省令和5年度「経営比較分析表」類似団体区分「公共下水道区分一覧表」より



8. 浸水対策事業

8 浸水対策事業

(1)雨水レベルアップ整備事業

ア 事業の概要

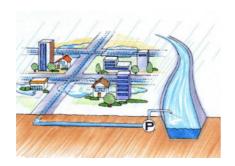
市の南部区域は低地となっており、一部ポンプで 排水しなければならないため雨に弱い地形になって います。特に市域の約 1/4 にあたる 838ha (南吹田 処理区の合流区域及び川面処理区)については、下水 道整備の初期に建設を行ったため、施設の整備水準 が低くなっており常襲的に浸水が発生しています。

本市の雨水レベルアップ整備事業は、この 838ha の区域において、すでに整備した下水道施設、既存施 設を有効に活用し、その能力を超える分を新たな増 強施設で対応します。

全体の事業としては、内径 0.8~3.75m の増強管 を約 13km 整備することと、雨水を神崎川に放流す るために 30m³/秒の雨水排水ポンプを増強すること です。

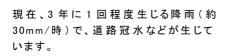
全体の総事業費が高額になることと、全体の整備 期間が長期になることから、早期計画と基本計画を たて、事業の効果を早期に発揮させるように努めて います。

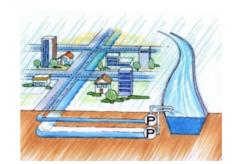
段階	早期計画	基本計画
目標レベル	常襲的浸水の解消を図る 確率年:5年 降雨強度:44mm/時	基本計画の目標達成 確率年:10年 降雨強度:(約)50mm/時
整備方針	早期に浸水対策を図るため、幹線を先行建設し、これを暫定的に貯留施設として運用します。	南吹田下水処理場に 30 m ³ / 秒の排水能力を持つポンプ施設を増強します。 流下・排水と貯留機能を合わせ持った増強施設が完成します。
概算整備費用	約 267 億円	約 195 億円
合計	約 4	.62 億円











最大内径 3.75 m の増強管と増強ポンプ 既存の下水道管はそのまま有効に活用 し、能力を超える雨水対策として増強管 の埋設と増強ポンプの整備を行います。

雨水レベルアップ整備事業のしくみ



雨水レベルアップ対象区域及び増強管計画路線図

イ 事業の経過

平成 10 年度~11 年度

平成 15 年 3 月

平成 16 年度~

平成 17 年度~

平成 21 年度~

平成 23 年度

平成 27 年 3 月

平成 28 年度~

令和 2年度~

令和 5年度

基本計画策定

下水道法事業認可取得

発進基地整備工事着手 (江の木公園)

工事着手(豊津工区)

雨水貯留管及びポンプ供用開始(豊津工区)

工事完成 (豊津工区)

貯留能力 約 15,000 m ³

ポンプ仕様 ϕ 200 mm×5.2 m³/分×17.5 m×30kW×2 台

下水道法事業計画変更

工事着手(中の島・片山工区1工区)

工事着手(中の島・片山工区2工区、3工区)*分水人孔

工事完成(中の島・片山工区)

貯留能力 約 17,500 m³

ポンプ仕様 ϕ 300 mm×12.2 m³/分×23 m×75kW×2 台

ウ 事業実施の効果

豊津工区における雨水レベルアップ貯留管の直近5か年の主な流入実績、中の島・片山工区における令和6年度からの流入実績は下記のとおりです。

雨水レベルアップ貯留管の主な流入実績(100 ㎡以上)

年度	主な	エ流入実績(豊津工፬	₹)	主な流入実績(中の	島・片山工区)
T /X	日付	貯留量(m³)	貯留	貯留量(m³)	貯留
			割合(%)		割合(%)
	7月8日	約5,800	3 9		
	7月11日	約380	3		
令和2年度	7月24日	約930	6		
(2020年度)	7月25日	約9,100	6 1		
	8月27日	約260	2		
	5月20日	約5,030 	3 4		
	6月23日	約150	1		
令和 3 年度	7月7日	約3,010	2 0		
(2021年度)	7月8日	約820	5		
	8月13日	約1,390	9		
	8月17日	約920	6		
	9月4日	約220	1		
	7月9日	約290	2		
令和 4 年度	7月12日	約1,680	11		
(2022年度)	8月16日	約2,870	19		
	8月31日	約240	2		
	5月7日	約480	3		
	6月2日	約1,920	1 3		
	7月1日	約880	6		
令和 5 年度 (2023 年度)	8月15日	約670	4		
(2020 千皮)	8月24日	約4,990	3 3	·	
	8月25日	約1,060	7		
	9月10日	約3,480	2 3		
	5月28日	約340	2		
	6月28日	約140	1		
	7月16日	約4,170	2 8	約7,560	4 3
	8月4日	約480	3	約520	3
令和 6 年度	8月6日	約500	3	約3,290	1 9
(2024年度)	8月14日			約1,360	8
	8月20日			約350	2
	9月12日	約5,010	3 4	約920	5
	9月20日			約1,360	8
	11月2日	約8,750	5 9	約9,870	5 6

※豊津工区の貯留管の容量は15,000㎡、中の島・片山工区の貯留管の容量は17,500㎡

※主な流入実績の貯留量は、雨水排水ポンプの排水量を記載

(2) 雨水整備率 雨水計画面積は、3582.034ha

年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
区	分				(2020年度)	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)
整	(i	Ħ	率	(%)	54.03	54.08	54.09	54.10	54.10
整	備	面	積	(ha)	1,935.210	1,937.090	1,937.590	1,937.740	1,937.740

(3) その他浸水対策

ア 止水板設置助成状況

区分	年度	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	合計
止 水	板 (作	1	0	0	2	0	3
止 水 製	品 (作	0	0	0	6	0	6
合	Ē	1	0	0	8	0	9

[※]平成28年度から、止水板設置助成制度を開始しました。

イ 土のう配付

	#	年	度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
区 要	請	数	(件)	(2020年度) 57	(2021年度) 51	(2022年度) 24	(2023年度) 30	(2024年度) 66	228
配	付	数	(袋)	1,381	1,656	706	743	1,289	5,775

ウ 内水浸水シミュレーション

作	成	年	度	平成28年度(2016年度)
				想定最大規模降雨(1000年に1回程度の雨)
想	定	降	雨	近隣市の既往最大降雨(豊中観測所)の降り方をベースに、1時間の降雨量を想定最大規模降雨まで引き
				延ばした。
時	間	雨	量	147mm (参考:猛烈な雨80mm/時) 10 分 雨 量 38mm

既存の下水道施設及び地表面モデルにより内水浸水をシミュレーションした浸水情報は、浸水に係るソフト対策として「吹田市内水ハザードマップ」(総務部危機管理室作成)に反映されています。

エ 上の川調節池

上の川上流部の沿線は、線路や道路、住宅が接近し川幅を 広げられない為、度々河川からの越水による浸水が発生し ていました。対策として大雨時に一時的に溜めるために 作った施設です。 ※大阪府河川施設(協定により吹田市が管理)

完	成	年	度	平成14年度(2002年度) ※平成28年度(2016年度)一部改良
規			模	約40m×約57m、深さ8m <u>貯 留 量</u> 9100㎡
設	置	籄	所	千里山東2丁目5番 (千里山東公園地下部)

(4) 浸水被害状況 ※被害件数は、市民からの通報等を基に市が現地確認した件数

区分	年 度	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	合計
民 家 床 上 浸 水	(件)	0	0	0	0	0	0
民家床下浸水	(件)	1	1	0	1	1	4
店舗等の床浸水	(件)	1	0	1	0	0	2
地下施設浸水	(件)	0	1	1	1	0	3
道路冠水	(件)	0	8	1	3	3	15
合	計	2	10	3	5	4	24



9. 安威川流域下水道の概要

(1) 事業の概要

安威川流域下水道は、淀川水系安威川の流域を処理区とした流域下水道で、昭和42年9月に都市計画決定及び同事業認可を受け、昭和42年度から事業に着手し、昭和45年3月に開催された日本万国博覧会にあわせて、中央処理場(現:中央水みらいセンター)で40,000m3/日の規模で通水を行いました。

流域下水道の新設としては全国第 1 号となり、昭和 47 年 7 月に供用開始をしています。 令和 5 年度末の普及率は 99.7%、管渠延長、 処理能力については全体計画に対して、令和 5 年度末でそれぞれ 99.3% と 77.8% の進捗 率となっています。

◆安威川流域下水道中央水みらいセンターの概要

処理区域面積 8,753ha 処理人口 583,720 人 処理水量 329.400m3/日 幹線延長 54,490m

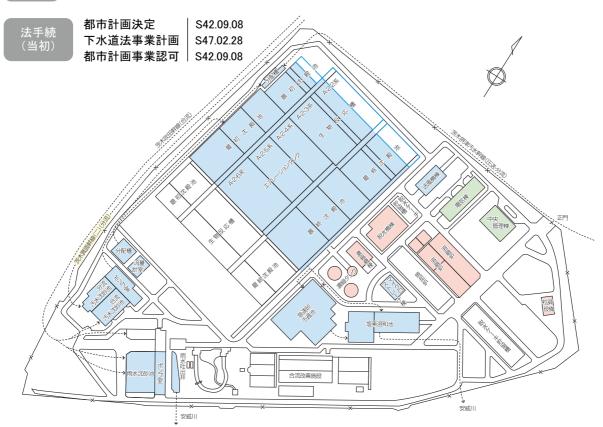
箇所数/敷地面積 1箇所/225,880m2

ポンプ場 穂積 | 岸部 | 味舌 | 摂津 計画放流量 22.1m³/s | 38.1m³/s | 35.6m³/s | 79.1m³/s

事業主体 大阪府

関係都市 計6市/茨木市、吹田市、高槻市、摂津市、箕面市、豊中市

主要河川 安威川、山田川、正雀川、大正川



安威川流域下水道中央水みらいセンター 一般平面図

(2)安威川流域下水道の計画内容及び実施状況

ア 全体計画及び事業計画内容

区分	全体計画	下水道法事業計画	都市計画法事業認可
処理面積(ha)	8,753	7,756	
処理人口(人)	583,720	561,875	
処理能力(m³/日)	329,400	281,260	
管渠延長(m)	54,490	54,490	42,560
ポンプ場数(箇所)	4	4	4

イ 都市別内訳

区分	全体計画		令和!	5年度末	
都市名	処理面積 (ha)	計画区域内 人口(人)	整備面積 (ha)	整備人口 (人)	普及率 (%)
豊中市	12	2,981	12	2,981	100.0
吹田市	2,221	205,024	2,143	204,859	99.9
高槻市	422	11,564	134	11,294	97.7
茨木市	4,132	234,922	2,487	234,441	99.8
箕面市	705	42,582	616	42,582	100.0
摂津市	1,261	86,346	1,127	85,781	99.3
計	8,753	583,419	6,519	581,938	99.7

[※] 普及率は人口普及率(整備人口/計画区域内人口)

ウ 施設内容

① 管渠

#A4####	全体計画	令和5年度末	
幹線名	管径(mm)	延長(m)	延長(m)
茨木吹田幹線(一)	ϕ 2,000 ~ \Box \Box 8,400 × 4,200	5,240	5,240
山田幹線	ϕ 2,000 ~ \Box 3,000 × 2,100	2,480	2,480
岸部幹線	ϕ 800 \sim \square \square 3,300 \times 3,300	3,910	3,910
茨木箕面幹線(一)	ϕ 1,200 $\sim \phi$ 3,600	6,490	6,490
千里幹線	ϕ 1,500 \sim \square 3,750 \times 4,600	1,620	1,620
摂津高槻汚水幹線	φ 700∼□1,100 × 1,100	4,710	4,710
摂津高槻雨水幹線	ϕ 3,500 \sim ϕ 4,250	4,320	4,320
茨木摂津汚水幹線	φ 700 ~ □1,500 × 1,500	5,420	5,420
茨木摂津雨水幹線	<i>ϕ</i> 3,750∼□□9,000 × 4,500	3,940	3,940
茨木摂津合流幹線	□2,700 × 2,700 ~ □4,100 × 3,290	1,390	1,390
茨木箕面幹線(二)	ϕ 1,650 \sim ϕ 2,400	8,820	8,820
茨木吹田幹線(二)	ϕ 1,650 \sim ϕ 1,650	2,880	2,519
千里山田幹線	ϕ 1,200 \sim ϕ 2,000	3,270	3,270
計		54,490	54,129

②ポンプ

				营情				令和5年度	末	計画
ポンプ場 名	用途	口径 (mm)	1台当り 揚水量 (m³/分)	台数 (台)	揚z (m³/分)	K量 (m³/秒)	台数(台)	揚水 (m³/分)	量 (m³/秒)	放流量 (放流先) (m³/秒)
	汚水	φ 200	5.4	2	10.8	(111 / 12 /	2	10.8	(111 /12/	(/ 10 /
	"	φ 400	22.5	1	22.5		1	22.5		
	"	ϕ 700	50.7	1	50.7		_	_		
岸部	雨水	ϕ 1,600	421	_	_	-	2	842	14.0	安威川
ポンプ場	"	ϕ 1,600	340	_	_	_	_	_		38.1
	"	ϕ 1,800	710	2 (1)	1,420 710	_	1 —	525 —	8.8	
	"	ϕ 2,000	525	3	1,575		2	1,050	17.5	
	汚水	φ 700	65	1	65		2 (1)	130 (65)		
穂積	"	φ 350	13	2 (1)	26 13		2	26		大正川
ポンプ場	雨水	ϕ 1,400	277	_	_	-	1	277	4.6	22.1
	"	ϕ 1,500	325	_	_	_	2	650	10.8	
	"	ϕ 1,650	441.6	4	1766.4	29.4	2	883.2	14.7	
	(千里系	5)		(1)	441.6	7.4	_	_	_	
	汚水	φ 400	23.2	2	46.4		2	46.4		
	11	φ 700	50.3	1	50.3		1	50.3		
	"	φ 900	110	2	220.0		_	_	-	
	雨水	φ1,350	260	_	_	_	1	260	4.3	
	"	ϕ 1,350	330	3	990	16.5	2	660	11.0	
味舌	"	ϕ 1,500	348	_	_	_	2	696	11.6	ch ch u
ポンプ場	"	φ1,500	366	2 (1)	732 366	12.2 6.1	_	-	_	安威川 35.6
	(山田系	<u>(</u>)								
	雨水	ϕ 1,000	138	_	_	_	1	138	2.3	
	"	ϕ 1,200	160	-	_	_	4	640	10.7	
	"	ϕ 1,350	168	1	_	_	-	-	-	
	"	φ 1,500	204	4 (1)	816 204	13.6 3.4	_	_	_	
	汚水	φ 450	20.8	1	20.8	J. 4	_	_		
	13/1/	φ 450 φ 450	27.4	_	_	_	1	27.4		
	"	φ 500	32.2	2 (1)	64.4 (32.2)		2	64.4		
摂津 ポンプ場	雨水	φ 2,000	563	4	2,252 2,688	37.5 44.8	8	4,504 —	75.0 —	安威川 79.1
	//	φ 2,000	672	(1)	672	11.2	_	_	_	
	"	ϕ 1,650	384	_	_	_	1	384	6.4	
	"	ϕ 1,650	476.2	1	476	7.9	_	-	-	

^{※()}書きは予備であり、内書きです。

②ポンプ

	全体計画					令和5年度末			計画	
ポンプ場 名	用途	口径 (mm)	1台当り 揚水量	台数 (台)	揚刀	k量	台数	揚水量		放流量 (放流先)
		(111111)	(m³/ 分)	(ロ)	(m³/分)	(m³/秒)	(ロ)	(m³/ 分)	(m³/秒)	(m³/秒)
	(A-1系))								
	汚水	ϕ 900	102.5	1	102.5		1	100		
	"	ϕ 900	102	2	204			_	_	
		ϕ 500	30	_	_		1	30		
		ϕ 400	20	_	_		1	20		
	(A-2系)									
	汚水	ϕ 700	73.5	3	220.5		3	220.5		
	"	ϕ 800	75	1	75.0		1	75		
中央	"	ϕ 800	80	3 (1)	240 (80)		2 (1)	160 (80)		安威川
水みらい	"	ϕ 1,200	220	1	220		1	220		女威川 49.6
センター	"	ϕ 1,200	255	1	255		1	255		
	雨水	ϕ 1,500	341	2	682	11.4	_	-	_	
	"	ϕ 1,650	476.4	4	_	_	2	953	15.9	
	"	ϕ 1,650	336	_	_	_	2	672	11.2	
	"	ϕ 1,650		2	960	16.0	2	960	16.0	
	"	ϕ 1,650	480	(1)	480	8.0	-	-	_	
	"	ϕ 1,500	341	_	_	_	2	682	11.4	

※()書きは予備であり、内書きです。

③ 水みらいセンター

1	施設名		全体計画			
水	処理施設	処理能	処理能力		256,110㎡/日	
			内径14.0m×深3.5m	3槽	0槽	
		重力濃縮	内径 9.1m×深3.5m	_	2槽	
	濃縮設備		内径20.9m×深3.5m	_	2槽	
	版州3276	ベルト型濃縮	80㎡/時	3(1)台	2台	
汚泥		ベルト生展軸	40㎡/時	1台		
処		遠心濃縮	_	_	4(2)台	
理施		スクリュープレス	975kg/時	3(1)台	2(1)台	
設	脱水機		399kg/時	1台	0台	
		ベルトプレス	110kg/m/時	_	4台	
	焼却炉	流動焼却炉	125t/日	2基	0基	
			100t/日		1基	
		溶融炉	110t/日		1基	

※()書きは予備であり、内書きです。

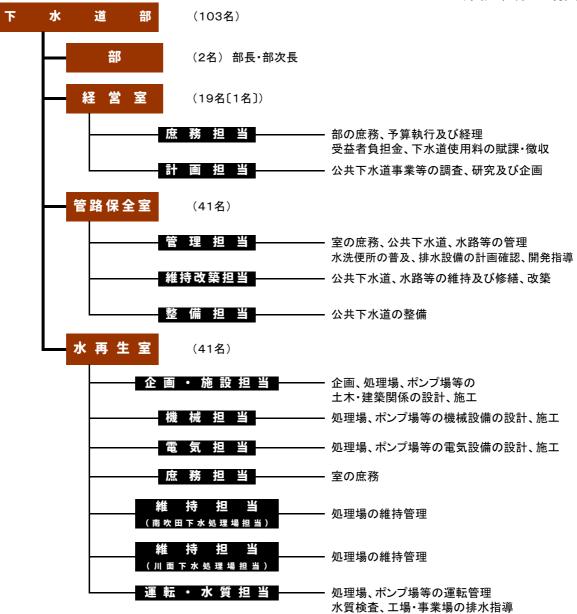


10. 組織と職員

10 組織と職員

(1) 組織

(令和7年3月31日現在)



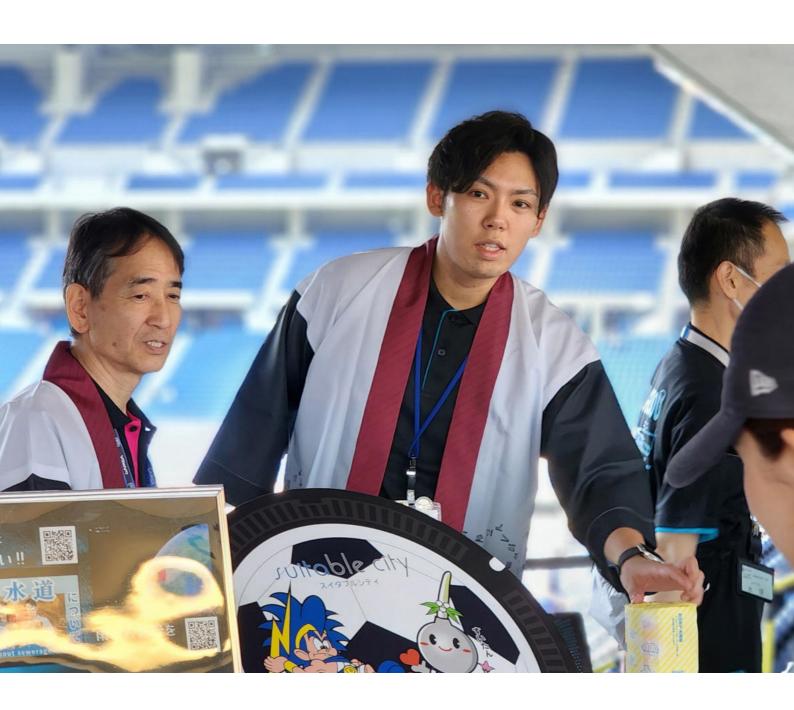
※[]内は兼務の人数を外書きしたもの。

(2) 職員

(単位:人)

年度 会計区分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
企業会計	95	98	96	94	94
一般会計	9	9	9	9	9
合 計	104	107	105	103	103





11. 広報 「見せる化」

11. 広報「見せる化」

(1) 広報媒体設置

ア デザインマンホール蓋

平成 29 年度(2017 年度)より、広報の素材としてデザインマンホールに着目し、若手職員を中心に「吹田市の特長」を捉えたデザインを検討。「コラボ」「自然」「鉄道」をキーワードに設置している。

年 度	個 数	設 置 場 所
平成 29 年度(2017 年度)	3	① ガンバボーイ&すいたん(万博公園)、② 三色彩道、③ 万博記念公園駅
平成 30 年度(2018 年度)	3	④ 桃山台駅、⑤ 江坂駅、⑥ JR 吹田駅
令和元年度(2019 年度)	3	⑦ 北千里駅、⑧ 阪急山田駅、⑨ 阪急吹田駅 ※設置は令和2年度
令和 2 年度(2020 年度)	4	⑩ 南千里駅、⑪ 関大前駅、⑫ 豊津駅、⑬ JR 吹田貨物ターミナル駅
令和 3 年度(2021 年度)	3	⑭ 岸辺駅、⑮ 南吹田駅、⑯ 千里山駅
令和 4 年度(2022 年度)	2	⑪ モノレール山田駅、⑱ 公園東口駅
令和 5 年度(2023 年度)	3	⑲ せせらぎの道、⑳ 江坂公園、㉑ 桃山公園
令和 6 年度(2024 年度)	3	② こもれび通り、③ フラワーロード、④ 江坂ウエストサイドストリート
Ħ	24	

イ 大阪・関西万博機運醸成デザインマンホール蓋

令和7年度(2025年度)開催の万博の機運醸成と、EXPO'70開催の地である吹田市の再発見を目的として都市魅力部シティプロモーション推進室と共同で万博専用のミャクミャクデザインのマンホール蓋を作成。EXPO'70ゆかりの地や今回の万博の趣旨に合致した施設周辺などに、令和5年度~令和6年度に計8か所に設置した。

年 度	設 置 場 所	由来等
令和 5 年度(2023 年度)	万博記念公園	EXPO' 70 開催地
	中央図書館	ニュージーランド館の壁画とオブジェが設置
	豊津公園	「太陽の塔」の岡本太郎氏の作品「リオちゃん」が設置
令和 6 年度(2024 年度)	メイシアター	カナダ館のレリーフ「イヌイットの像」が設置
	UR 千里竹見台団地	EXPO'70 関係者宿舎となった「スターハウス」
	健都	先進的な健康・医療のまちづくりを進めています
	大阪大学グローバルビレッジ津雲台	国際的生活環境や地域交流で人材を育成する施設
	関西大学吹田みらいキャンパス	多様な人々が集い、「みらい」を描くキャンパス

(2) 広報活動

ア マンホールカード配布

平成 30 年(2018 年)4 月からマンホールカードを「Inforest すいた」で配布開始。令和 6 年(2024 年)11 月からは、千里ニュータウン情報館にて配布。

マンホールカード 配布数

(単位: 枚)

年度	Inforest すいた 千里 NT 情報館	各種イベント	年度計	累計
平成 30 年度(2018 年度)	9,125	1,071	10,196	10,196
令和元年度(2019 年度)	4,595	781	5,376	15,572
令和 2 年度(2020 年度)	1,919	36	1,955	17,527
令和 3 年度(2021 年度)	1,786	532	2,318	19,845
令和 4 年度(2022 年度)	2,920	256	3,176	23,021
令和 5 年度(2023 年度)	3,074	105	3,179	26,200
令和 6 年度(2024 年度)	3,109	294	3,403	29,603
計	26,528	3,075		

イ 「下水道の日」パネル展 (会場:本庁ロビー)

平成 30 年度(2018 年度)より「下水道の日(9 月 10 日)」を啓発するためパネル展を開催。職員や関係者が収集した「マンホールカード」やテーマに基づいた写真、イラストで作成したパネルを展示、期間中は手作り啓発品(缶マグネットなど)やマンホールカードも配布。

年度	開催期間 (土日除く)	テーマ	アンケート 回収数	概要
平成 30 年度(2018 年度)	9/10~9/14	下水道を知る	未確認	下水道施設の紹介
令和元年度(2019 年度)	9/9~9/13	あなたの知らない下水道の世界	未確認	下水道の仕組みと役割
令和 2 年度(2020 年度)	9/7~9/11	下水道を楽しもう	351	下水道施設の中は?
令和 3 年度(2021 年度)	9/6~9/10	マクロでミクロな世界	228	微生物にスポット
令和 4 年度(2022 年度)	9/5~9/16	吹田市デザインマンホール蓋 鉄道シリーズ完結	886	鉄道蓋レプリカ展示
令和 5 年度(2023 年度)	9/6~9/15	吹田の下水道の今	94	動画とパネルで紹介
令和 6 年度(2024 年度)	9/6~9/13*	下水道の役割を深掘り	24	動画とパネルで紹介

*令和6年度は庁舎改装工事のため、低層棟連絡通路で開催

ウ 下水道フェア (会場:Inforest すいた)

- ・令和 3 年 6 月 1 日 \sim 30 日に、「吹田市下水道部 & シェアサイクルフェア」として開催。来場者は <math>163 名(アンケート回答数)
- ・令和 5 年 2 月 17 日~3 月 26 日に、「デザインマンホールとすいたフェア」として開催。来場者は 24,437 名。人パネル 9 枚展示、鉄道蓋レプリカ 16 基の展示、府内マンホールカード展示。
 - 3月4日に、デザインマンホール塗り絵を実施。4回で59名の参加。
 - 3月10日~12日に、デザインマンホールの「すいたんを探せ!」クイズを実施。105名の参加。
- ※Inforest すいたは令和 6 年 10 月 30 日閉館。

エ 下水道展(会場:インテックス大阪)

・令和3年8月17日~20日に、下水道展が大阪で開催。豊中市、高槻市と共同で大阪北摂中核市として出展。ブースの見学者約850名(アンケート回答数)

オ デジタルスタンプラリー

・令和 5 年 3 月 1 日 \sim 3 月 26 日に、市内全 16 駅とコラボした鉄道蓋の全駅設置の完了の記念としてデジタルスタンプラリーを開催。参加者 581 名。

参加賞(5駅以上獲得者):309名にオリジナルノベルティを贈呈。

コンプリート賞: 応募総数 202 名のうち、抽選で 100 名にオリジナルノベルティと鉄道各社提供ノベルティを贈呈

・令和 5 年 12 月 1 日〜令和 6 年 3 月 24 日に、都市魅力部シティプロモーション推進室主催「2025 大阪・関西万博機運醸成スタンプラリー」のスタンプポイントとして、市内 3 カ所に設置したミャクミャクデザインの人孔蓋を提供。参加者 484 名。

カ 大阪マンホール EXPO

主催は、令和4年度に広域化共同化の一つとして、大阪府、大阪市含む府内市町村で発足した「大阪広報ぷらっとホーム」。吹田市はコアメンバーの一員として参画。

- ・令和 5 年 10 月 21 日~22 日に、大阪市下水道科学館(此花区)で体験、学び、遊びを通して下水道を PR、2 日間で 596 名が見学(アンケート回答者数)
- ・令和6年11月16日~17日に、令和5年度と同様の内容で開催、2日間で880名が見学(アンケート回答者数)

キ ゆいぴあ夏まつり (会場:夢つながり未来館)

下水道にちなんだゲームを実施し、参加者にオリジナルグッズをプレゼント。

- ・令和5年9月3日開催 まつりの来場者776人 下水道部ブース来場者563人
- ・令和6年8月25日開催 まつりの来場者580人 下水道部ブース来場者371人

「見せる化

ク スタジアムフェスタ (会場: Panasonic stadium 吹田)

都市魅力部文化スポーツ推進室主催のイベント。吹田市啓発コーナーで下水道の PR を実施。

・令和6年6月1日開催、5年ぶりに参加。全体入場者約3000人、下水道部ブース189人(アンケート回答者)。 デザインマンホール、ミャクミャク蓋をPR。アンケート回答者にグッズとマンホールカード配布したほか、下水道 Instagram を動画で紹介。フォロー者にはオリジナルトイレットペーパーを配布。

ケ その他

・令和7年3月26日~28日、メイシアター(展示室)パッチワーク教室作品展でデザインマンホール蓋をPR。キルト製マンホールと共演。

(3) 広報誌掲載等

ア 市報「すいた」

- ・令和2年12月号巻頭カラーページ。吹田市下水道事業60周年「吹田の下水道のこれまでとこれから」
- ・令和4年9月号「下水道の日パネル展」
- ・令和5年3月号「市内16駅すべてに設置 鉄道デザインのマンホール蓋」
- ・令和5年9月号「吹田の下水道を知る1カ月」 見開き2ページカラーで4行事を掲載。
- ・令和 5 年 10 月号「大阪マンホール EXPO」
- ・令和6年9月号「下水道の日パネル展~下水道を深掘り!」
- ・令和6年10月号「大阪マンホール EXPO2024」

イ TV 放送等

①「お元気ですか!市民のみなさん」

- ・平成 30 年 11 月前半号【特集】「あなたの知らない下水道の世界」(令和 2 年 7 月後半号にリピート放送)
- ・令和3年3月後半号【特集】「いま、マンホール蓋がアツい!」
- ・令和5年6月7日 JCOM ライブニュース「チョット知っとこ!下水の事」

②「吹ちゅーぶ」配信

- ・令和6年2月 #21「伝えたい下水道の魅力」
- ・令和6年5月 #36「潜入!水再生センター施設見学会」

(4) 見学会等

ア 水再生センター施設見学

- ・下水処理についての説明と、実際の処理工程の見学。
- ・令和5年度より、土曜日開催で「水再生センター施設見学会」(年2回)を公募で実施。

年 度対象	一般 (大学含む)	小・中・高等学校	水再生センター 施設見学会
令和元年度(2019 年度)	61 人	0 校(0 人)	_
令和 2 年度(2020 年度)	中止*	中止*	-
令和 3 年度(2021 年度)	中止*	中止*	_
令和 4 年度(2022 年度)	31 人	1 校(95 人)	-
令和 5 年度(2023 年度)	79 人	5 校(403 人)	70 人
令和 6 年度(2024 年度)	105 人	0 校(0 人)	118 人

※令和 2~3 年度は新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止。

イ 工事現場見学会

① 雨水レベルアップ整備工事

· 平成 30 年 6 月 1 日 一般市民 88 名(公募)

6月 9日 小学生 42 名、

12月14日 大学生14名

②岸部シールド工事

坑内ツアー、セグメントお絵描き、重機への乗車体験などを実施。

・令和5年9月24日 693名(アンケート回答者)

ウ 夏休み特別講座 下水道サイエンスラボ

夏休み期間中に水環境を学ぶ小学4~6年生と保護者を対象に顕微鏡を使った微生物観察などを実施。

・令和6年度 8組25名(2日間で2回実施)

工 出前授業

職員が学校へ出向き、下水道についての授業を実施。

- · 令和 5 年度 吹田第三小学校、豊津第二小学校
- · 令和 6 年度 吹田第二小学校、吹田東小学校、山田第一小学校

(5) 広報素材

- ・下水道部オリジナルトイレットペーパー
- ・下水道フォトコレクション(パンフレット) *令和元年度作成。
- ・缶マグネット(オリジナル) *イベントに合わせて作成。
- ・デザイン蓋マップ(A4) *新規設置毎に作成。
- ・南吹田水再生センターパンフレット作成

(6) SNS 活用

・吹田市動画配信チャンネルで動画配信(YouTube)



・令和 6 年度から下水道部公式 Instagram でイベントのお知らせ、写真、動画をアップ



(7) 官学連携

・令和 4 年 4 月~令和 5 年 2 月の期間で大阪学院大学×吹田市「下水道プロジェクト」において、学生と下水道に関するショート動画を作成(20 本)し、SNS(TikTok,YouTube,Instagram)で配信を行った。





YouTube



Instagram



- ・令和4年度「関西大学SDGsパートナー制度」に登録。
- ・令和 4 年 11 月 21 日(月)~12 月 3 日(土)に関西大学 SDGsWEEKs にパネル展示。
- ・令和 5 年度~令和 6 年度 J:com ネット動画「ジモトトピックス・下水道部の取り組み」(関西大学の学生が作成)に協力。

吹田市下水道年報

一令和 6 年度(2024 年度)版一

令和7年(2025年)10月発行編さん「吹田市下水道年報」作成作業部会発行所 吹田市泉町1-3-40 吹田市下水道部経営室 な06(6384)2080 fax 06(6368)9903

※特に表記のない限り令和7年 (2025年)3月31日時点のデータをもとに作成しています